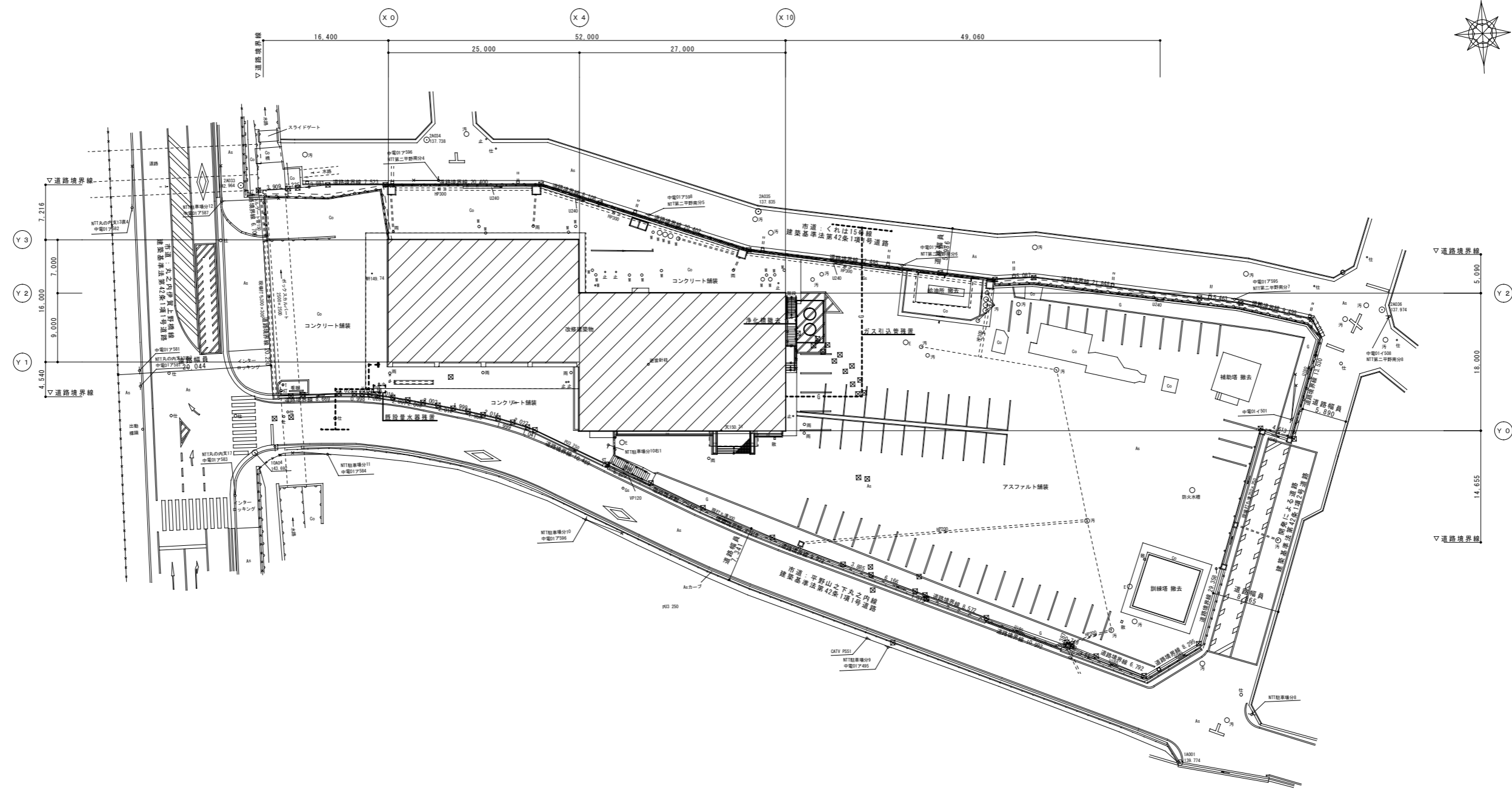
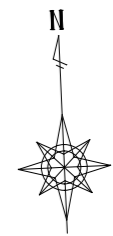


(仮称) 伊賀市総合福祉会館改修工事
(機械設備工事)

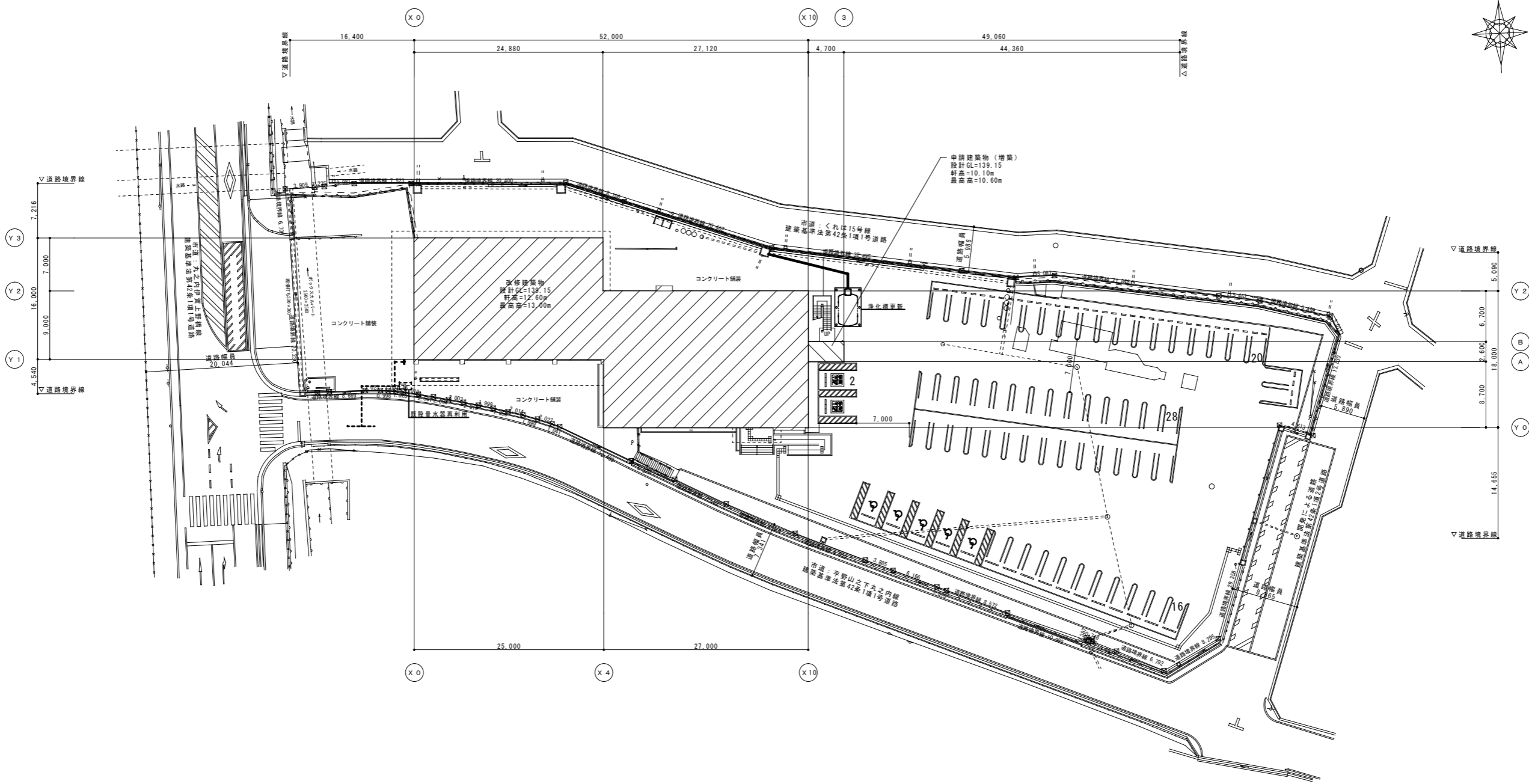
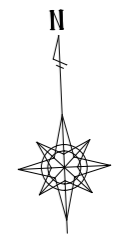
機械設備工事特記仕様			(○印を付けたものを適用する。)			
建築概要	工事名称 (仮称)伊賀市総合福祉会館改修工事(機械設備工事)	伊賀市 地内	工事写真	排水設備	機器設備	配管設備
優先順位	1. 現場説明事項 質疑応答書 2. 本特記仕様書 3. 設計図書 4. 工事共通仕様書		完成写真			
申請手続	工事に伴う関係官公署、ガス会社への諸手続きは請負者がこれを代行し、必要経費も本工事に含むものとする。		デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。 (M4版用紙に1ページあたり3枚) 1部 箇所数は 外観4面 各室2面 程度とする。 規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。 アルバム 1部 (大きさ 335mm×290mm程度)			
疑義	設計図書の誤記、記載漏れ、又図面上納まり不明な事に起因する問題点、疑義についてはその都度監督員と協議すること。		完成図等 作成する (製本A2・A3各2部・CADデータ提出) 完成図作図範囲(配置図、平面図、立面図、断面図、仕上表等) 完成図はCADにより作成することとし、著作権にかかる使用権は発注者に委譲するものとする。			
変更	設計図面に明記なくとも、外観上、機能上又は法規上当然必要と認められるものについては、本工事に含むものとする。		○下記で指定するもの以外は監督員と協議し決定する。 ○施工可能日 (・指定あり ○指定なし) ○施工可能時間帯 (・指定あり ○指定なし) ○部別別の施工順序 (○指定なし ・) ○工事車両の駐車場 (・指定あり ○指定なし)			
完成図書	工事完成の上は各種の試験、検査を受け許可書証、成績表、工事写真、日報、材料検取簿、完成写真、竣工図、取扱説明書等とりまとめ提出すること。		○資材置場 (・指定あり ○指定なし)			
耐震基準	日本建築センター編「建築設備耐震設計・施工指針」によること。					
特記事項						
中埋設の給水、ガス、消火管等は埋設表系統、埋設シートを布設する。						
重量機器及び器具は吊りボルトにて堅固に取付けること。						
機器及び配管等は、地震時に水平移動、転倒、落下などが生じないように「建築設備耐震設計指針」により施工する。						
防火区画貫通部分は、日本建築センターの性能評定を受けた工法に基づき材料を使用すること。						
○建物導入配管(給水、ガス、消火)は十分な可撓性を有する変位吸収配管施工をおこなう。						
○水密を要する部分を除きスリーブに用いる材料は、紙製の型枠を使用することができる。						
○排水管を除く管の埋設深さは、一般敷地300mm以上、車両道路部600mm以上とする。						
○振動の伝播を防ぐ必要のある配管及び強制循環する水配管で管径65φ以上の配管には、防振吊り金物又は防振支持金物を設けるものとする。						
○既設コンクリート床、壁などの配管貫通部の穴明けは、原則としてダイヤモンド刃による。						
○土間配管は土間面に吊り下げるなど埋設配管を保持するようにする。						
○屋外露出及び多湿箇所(トレンチ等)の配管管台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとする。						
○配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にする。						
○系統が分かるように、必要箇所(機械室、PS内等)に文字書き・矢印記入・バルブ札取付をおこなう。						
○機器・配管・支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶縁処理をおこなう。						
○配管に空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置する。						
○屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、ケミカルアンカー(ステンレス製)とする。						
○工事着工までに諸官庁へ工事範囲、工事期間の詳細を報告する						
○本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて請負者の負担とする。						
共通事項						
保温工事	・保温施工範囲は共通仕様書による。					
○保温施工種別	・共通仕様書による。					
	○下表による。(但し機器、機遣は共通仕様書による)					
屋内露出	グラスウール 保温筒 合成樹脂製カバー					
屋外露出・多湿箇所	PS 保温筒 SUS鉄板仕上げ					
天井・PS内	グラスウール 保温筒 アルミガラスクロス					
床下・結露内	PS 保温筒 アルミガラスクロス					
○保温材料の厚さ	・共通仕様書による。					
	○下表による(但し機器、機遣は共通仕様書による)					
80A以下	20 mm	給排水管 給湯管 温水管 ドレン管				
100-150A	25 mm	消火管(但し屋外のみ)				
200A以上	40 mm					
25A以下	30 mm	冷水管 冷温水管				
32-200A	40 mm					
250A以上	50 mm					
○ SUSラッキング仕上げとする。	・化粧ケース仕上げとする。(屋内)					

特記	工事名 (仮称)伊賀市総合福祉会館改修工事(機械設備工事)	備考	特記仕様書	版次 NS(A1) NS(A3)	図面番号 M-01	承認	管理建築士	印
----	-------------------------------	----	-------	------------------	-----------	----	-------	---



< 現況 > 配置図
 1/300 (A1)
 1/600 (A3)

特記	工事名	(仮称) 伊賀市総合福祉会館改修工事(機械設備工事)		承認	管理建築士	印
	図名	< 現況 > 配置図	縮尺 1/300 (A1) 1/600 (A3)	図番 M-02	製図者	



< 改修 > 配置図
 1/300 (A1)
 1/600 (A3)

特記	工事名	(仮称) 伊賀市総合福祉会館改修工事 (機械設備工事)		承認	管理建築士 印
	図名	< 改修 > 配置図	縮尺 1/300 (A1) 1/600 (A3)		
	製図者			承認者	
	校核者			製図者	

衛生設備機器表

記号	名称 参考型番	型式・仕様	電源			台数	設置場所
			相 (φ)	電圧 (V)	消費電力 (kW)		
EH-1	小型電気温水器 ESD12BRX111C0	型式：据置形 飲用可能 貯湯量：12L 付属品：排水ホッパー、接続フレキ、止水栓、他必要部材一式共	1	100	1.1	2	1F湯沸室、2F湯沸室 床固定 満水 21kg
注記)	給湯器は「平成12建告1388号に適合する構造方法とする。」						

図示記号

記号	名称
— — — — —	給水管
— — — — —	排水管
- - - - -	通気管
— — — — —	換気ダクト
— 0A — — — —	給気ダクト
— R — — — —	冷媒管
— D — — — —	ドレン管
□	給水栓
■	給湯栓
■	混合水栓
●	排水金物
○ ⊕	床上掃除口
⊕ ⊗	弁類

衛生器具表

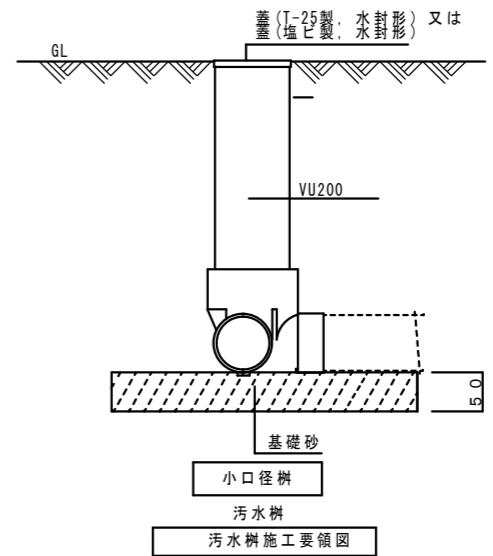
名称	品番	合計	1F					2F				外部		
			湯沸室	男子便所	女子便所	多目的便所	掃除用奥庫	男子便所	女子便所	多目的便所	事務室		屋上	
洋風便器	YBC-ZA10S, DT-ZA150E(ロータンク), CW-PA11FLQC-NE(洗浄便座、擬音装置付), CF-008-1	11		2	3					3	3			
多目的便器	BC-P20S, DT-PA250CH(ロータンク), CW-PA11FLQD-NECK(洗浄便座、フタ無), CF-008-1	2				1						1		
棚付2連紙巻器	CF-63HST	13		2	3	1				3	3	1		
小便器	U-A51AP(100V)	6		3						3				
洗面器	L-176UFCR, AM-200T(自動単水栓), LF-281PAU, KF-30DN, SF-10E	8		2	2					2	2			
カウンター一体形洗面器	L-275FCRS, AM-200(自動単水栓), LF-275PAU, SF-10E, KF-30DN, KF-24F(水石鹸)	2				1						1		
手すり(L型)	KF-926AE80D25, KF-D16*3	13		2	3	1				3	3	1		
手すり(はね上げ)	KF-471EH70, KF-D19	2				1						1		
手すり(小便器用)	KF-701AE, KF-D16*4	2		1						1				
手すり(洗面器用)	KF-312AE70, KD-D16*4, AY-55FN	4		1	1					1	1			
掃除流し	S-202A, LF-7KEZ-19, SF-20SAF-P(AY), SF-10E, SF-202	2					1		1					
オストメイト	PTOM-A210TLW 電温付	2				1						1		
化粧鏡	KF-4560A	8		2	2					2	2			
化粧鏡	KF-4510A	2				1						1		
キッチン	建築工事(セット内容にキッチン用付属品は含む)	2	1										1	
散水栓	LF-33-13-GV, (B-3)	3											1	2

* 取付用の補強は本工事とする。
* 機器・器具は参考とし、現場にて確認(数量)等のこと。

排水栓仕様

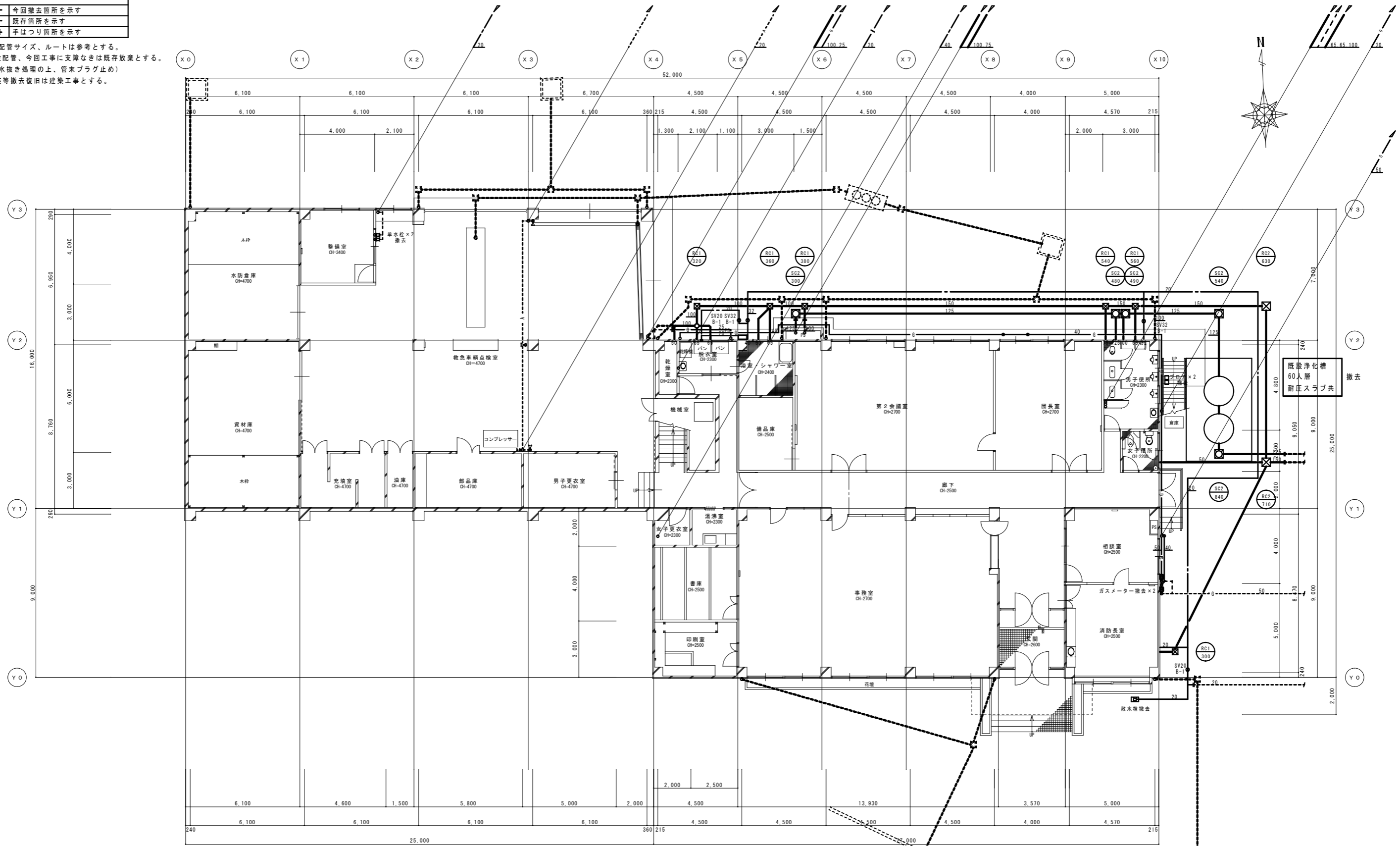
種別	記号	樹寸法	蓋	備考
小口径インポート樹	S-2	200φ	下記による	記号 ○
雨水用小口径樹	R-2	200φ	下記による	記号 ⊗

小口径樹 特記なきは塩ビ蓋(銀付)、Tと表示はT-25(鋼鉄蓋)とする。
雨水用は、泥層バケット取付けの事。



○	今回撤去箇所を示す
---	既存箇所を示す
○	手すり箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
 既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。
 (既設管水抜き処理の上、管末プラグ止め)
 外部舗装等撤去復旧は建築工事とする。

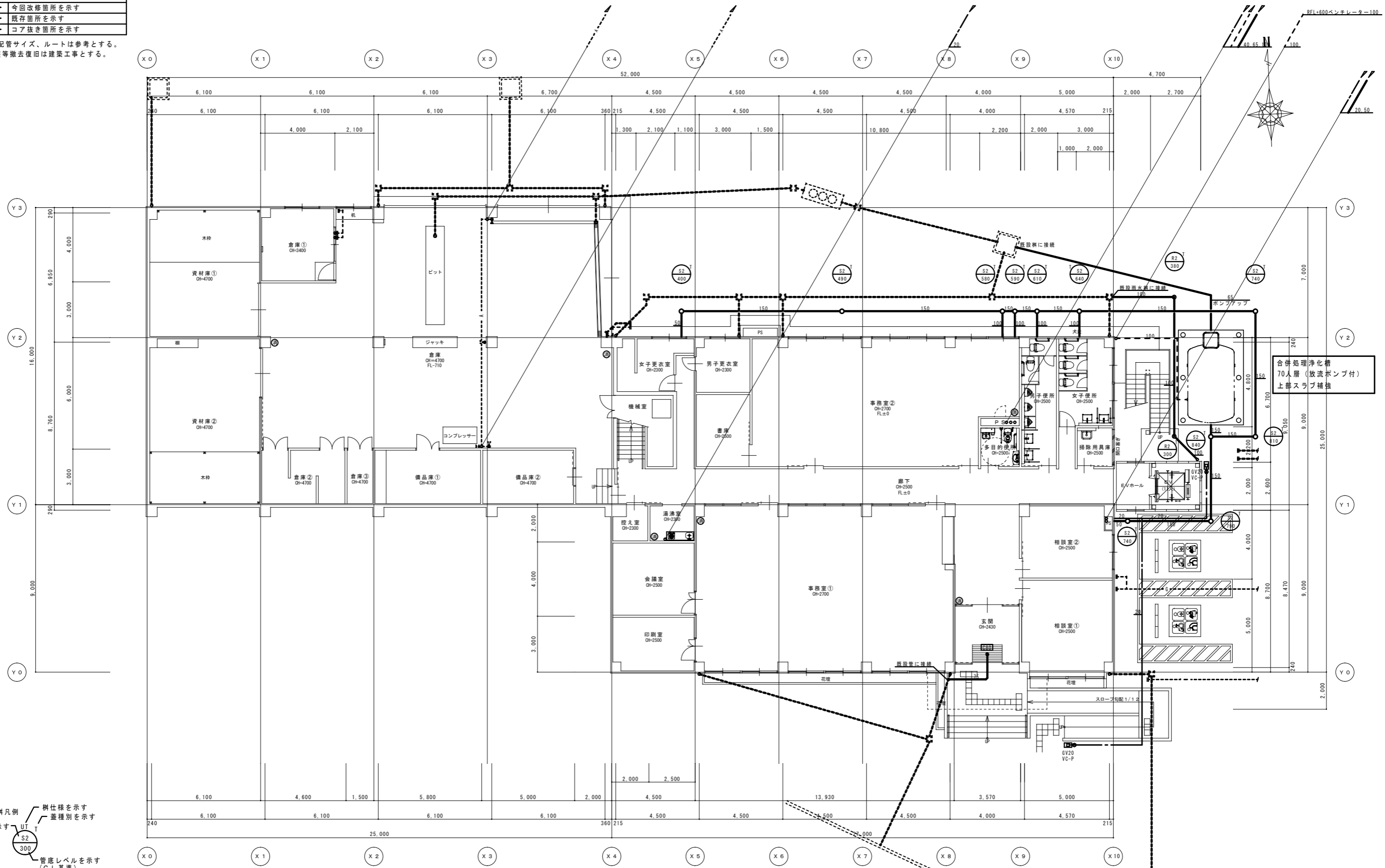


1階現況平面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

特記	工事名	(仮称) 伊賀市総合福祉会館改修工事 (機械設備工事)		承認	管理建築士	印
	図名	1階現況平面図 給排水衛生設備	縮尺 1/100 (A1) 1/200 (A3)	図番 M-05		

○	今回改修箇所を示す
---	既存箇所を示す
○	コア抜き箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
外部舗装等撤去復旧は建築工事とする。



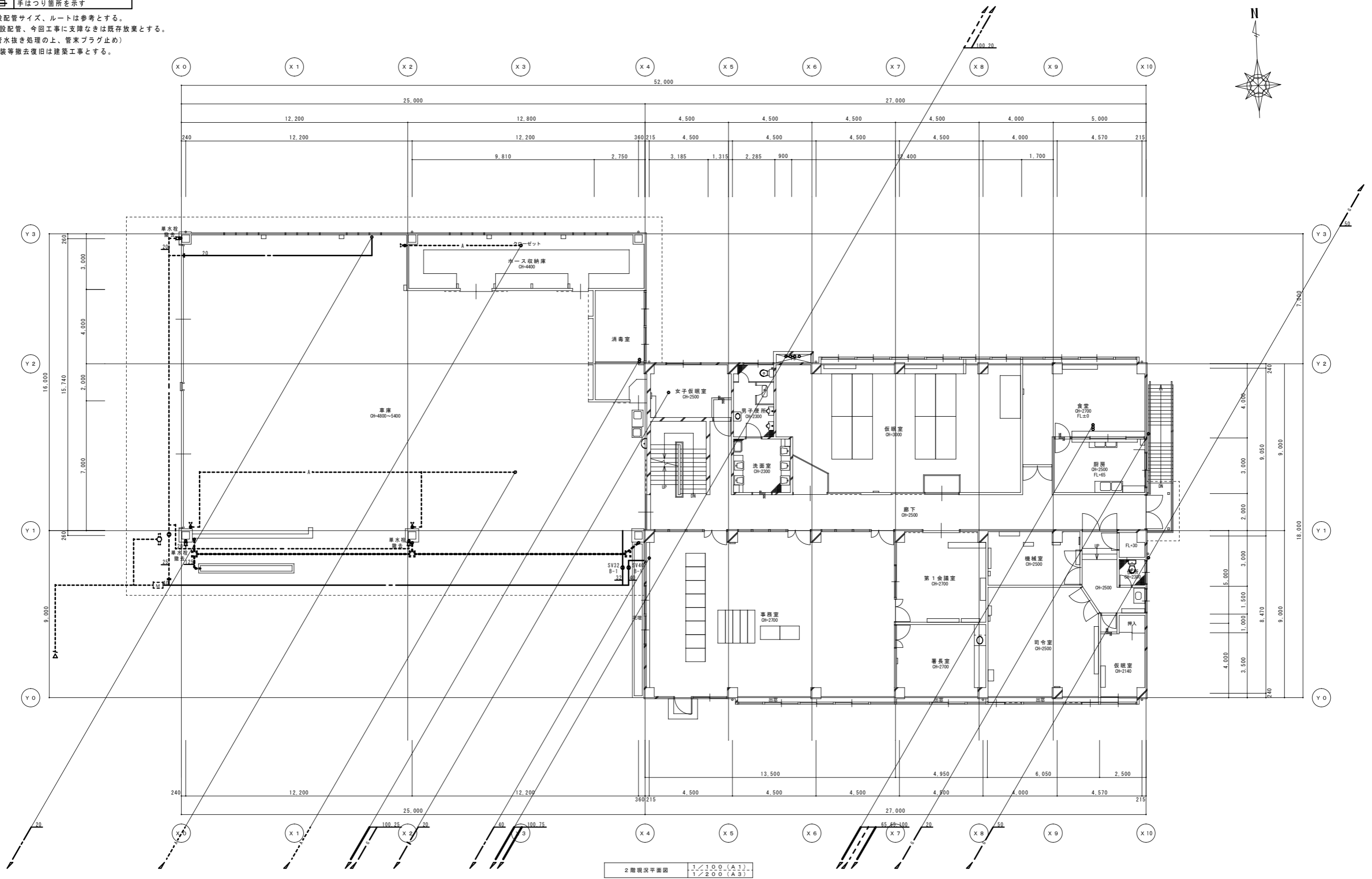
注記) 排水勾配 屋外 1/50 屋内 1/50を基準とする。
計画地は寒冷地ではないため、凍結防止対策は行わない。
ウォーターハンマー防止の為、配管類は堅固に支持、固定すること。
排水トラップ封水高 50mm以上 100mm以下とする。
樹レベルは参考とする。
埋設標示設置のこと。
上水、下水関係は市町村施工基準に準じること。

1階改修平面図 1/100 (A1)
1/200 (A3)
◎印ABC粉末消火器10型(ボックス共)を示す

工程名	(仮称)伊賀市総合福祉会館改修工事(機械設備工事)	承認	管理建築士
図名	1階改修平面図 給排水衛生設備	縮尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)
図番		図番	M-06

凡例	今回撤去箇所を示す
	既存箇所を示す
	手はつり箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
 既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。
 (既設管水抜き処理の上、管末プラグ止め)
 外部舗装等撤去復旧は建築工事とする。

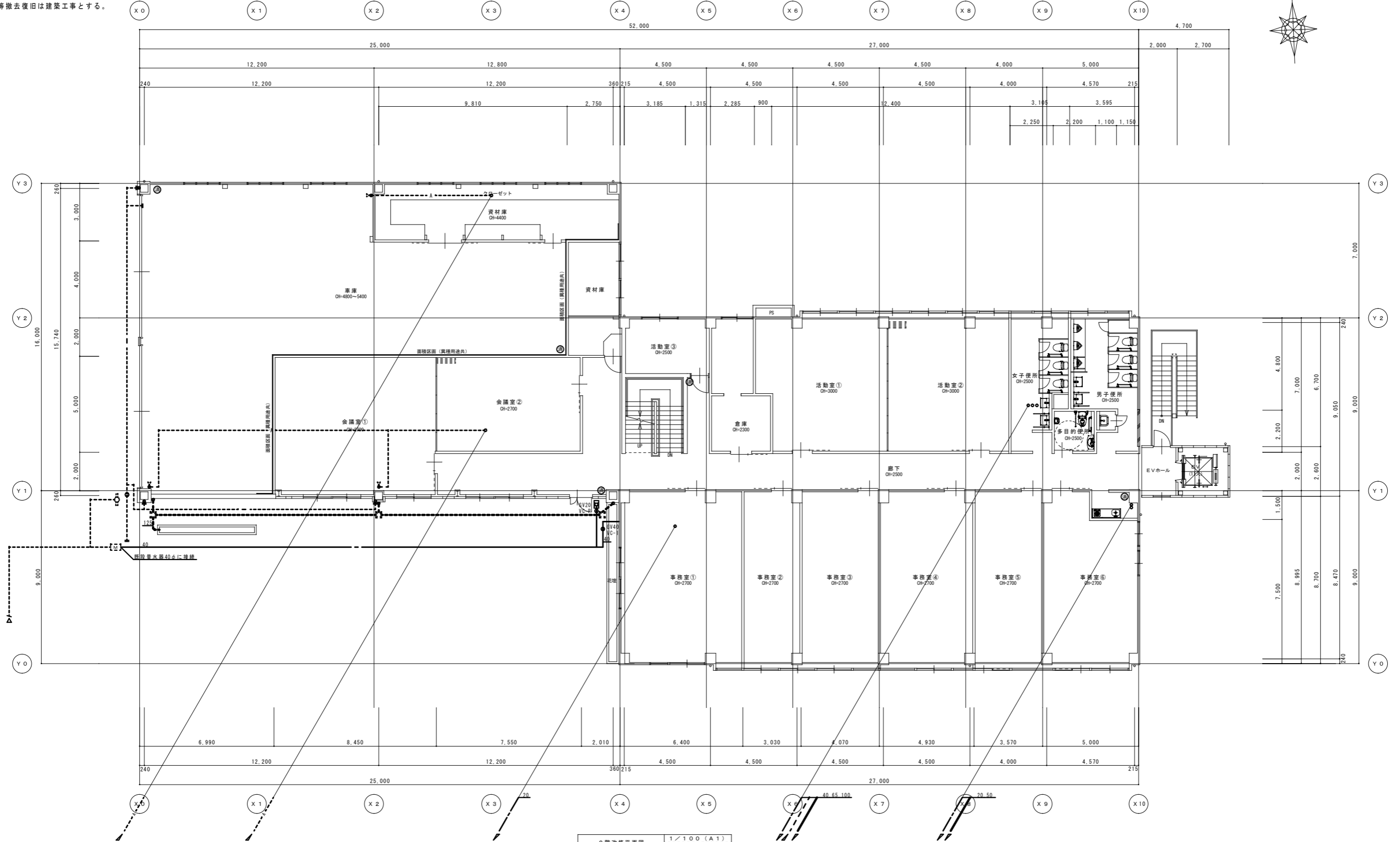


2階現況平面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

特記	工事名	(仮称) 伊賀市総合福祉会館改修工事 (機械設備工事)	承認	管理建築士	印
	図名	2階現況平面図 給排水衛生設備	縮尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	図番

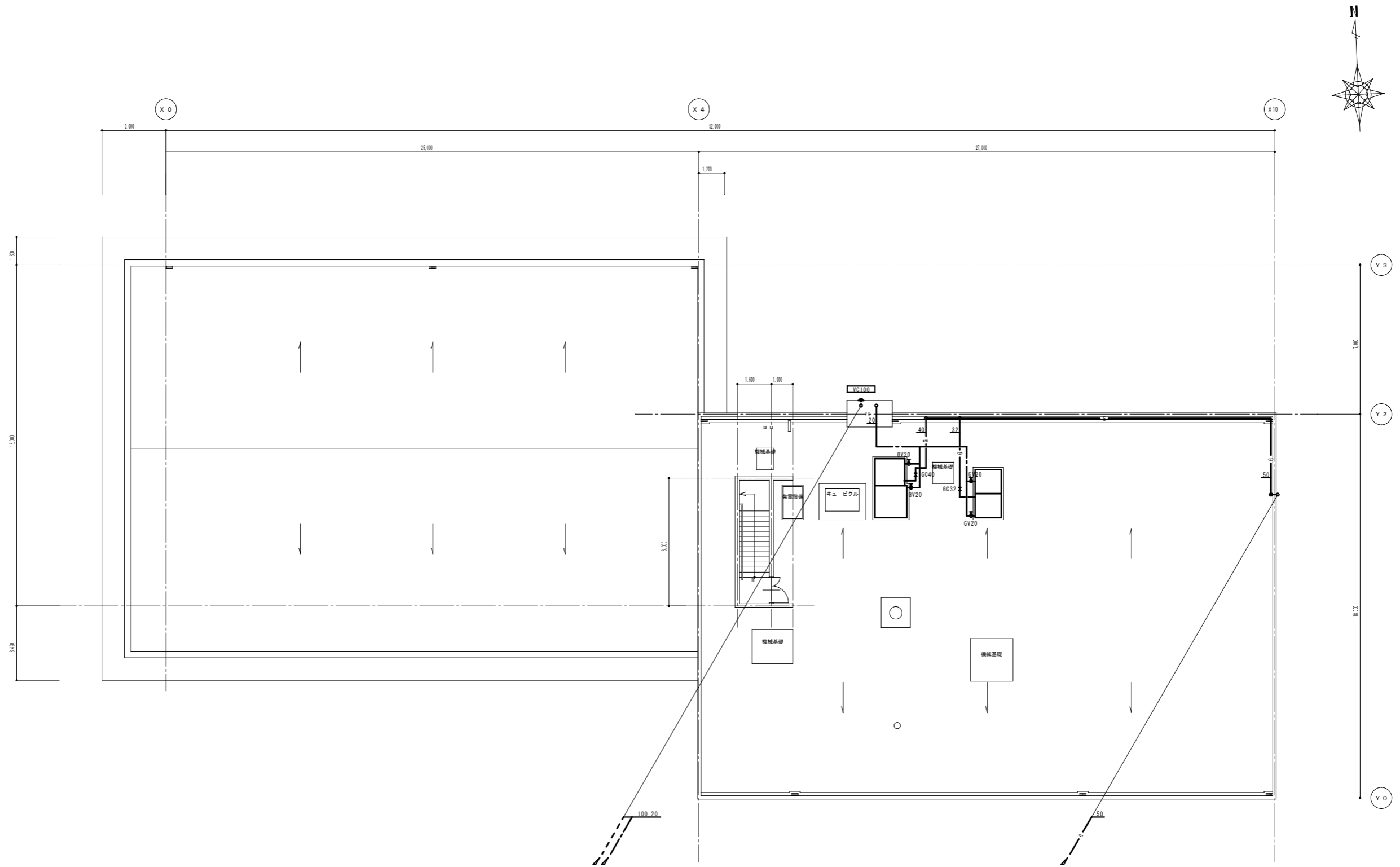
凡例	
——	今回改修箇所を示す
-----	既存箇所を示す
○	コア抜き箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
外部舗装等撤去復旧は建築工事とする。



2階改修平面図 1/100 (A1)
1/200 (A3)
印ABC粉末消火器10型(ボックス共)を示す

特記	工事名	(仮称)伊賀市総合福祉会館改修工事(機械設備工事)	承認	管理建築士	印
	図名	2階改修平面図 給排水衛生設備	縮尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	図番

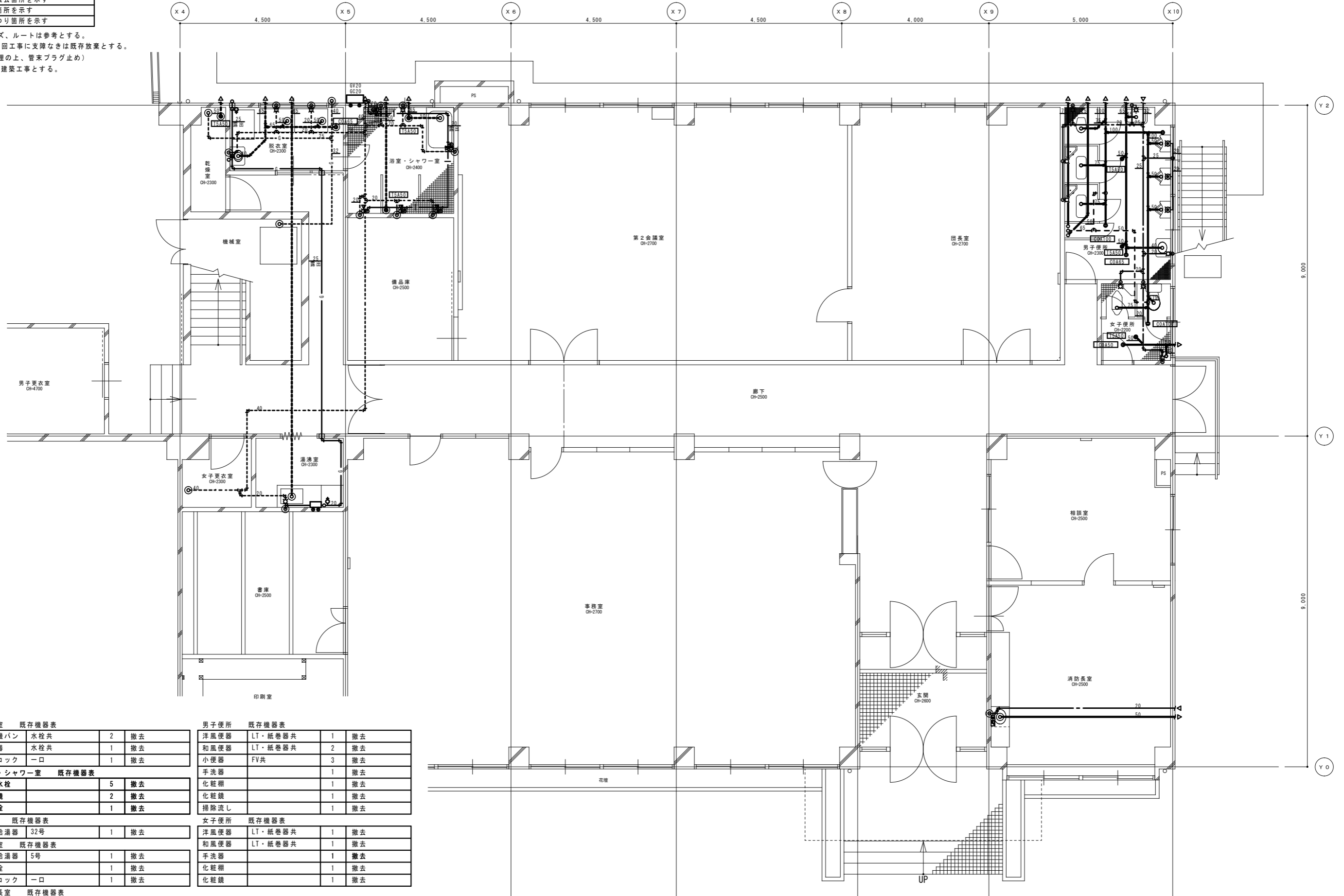


RF階現況平面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

特記	工事名	(仮称) 伊賀市総合福祉会館改修工事 (機械設備工事)			承認	管理建築士 印
	図名	RF階現況平面図 給排水衛生設備	縮尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)		
					製図者	

凡例	今回撤去箇所を示す
	既存箇所を示す
	手はつり箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
 既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。
 (既設管水抜き処理の上、管末プラグ止め)
 土間はつり復旧は建築工事とする。



脱衣室 既存機器表

洗濯機パン	水栓共	2	撤去
手洗器	水栓共	1	撤去
ガスコック	一口	1	撤去

浴室・シャワー室 既存機器表

シャワー水栓		5	撤去
化粧鏡		2	撤去
単水栓		1	撤去

外部 既存機器表

ガス給湯器	32号	1	撤去
-------	-----	---	----

湯沸室 既存機器表

ガス給湯器	5号	1	撤去
単水栓		1	撤去
ガスコック	一口	1	撤去

消防長室 既存機器表

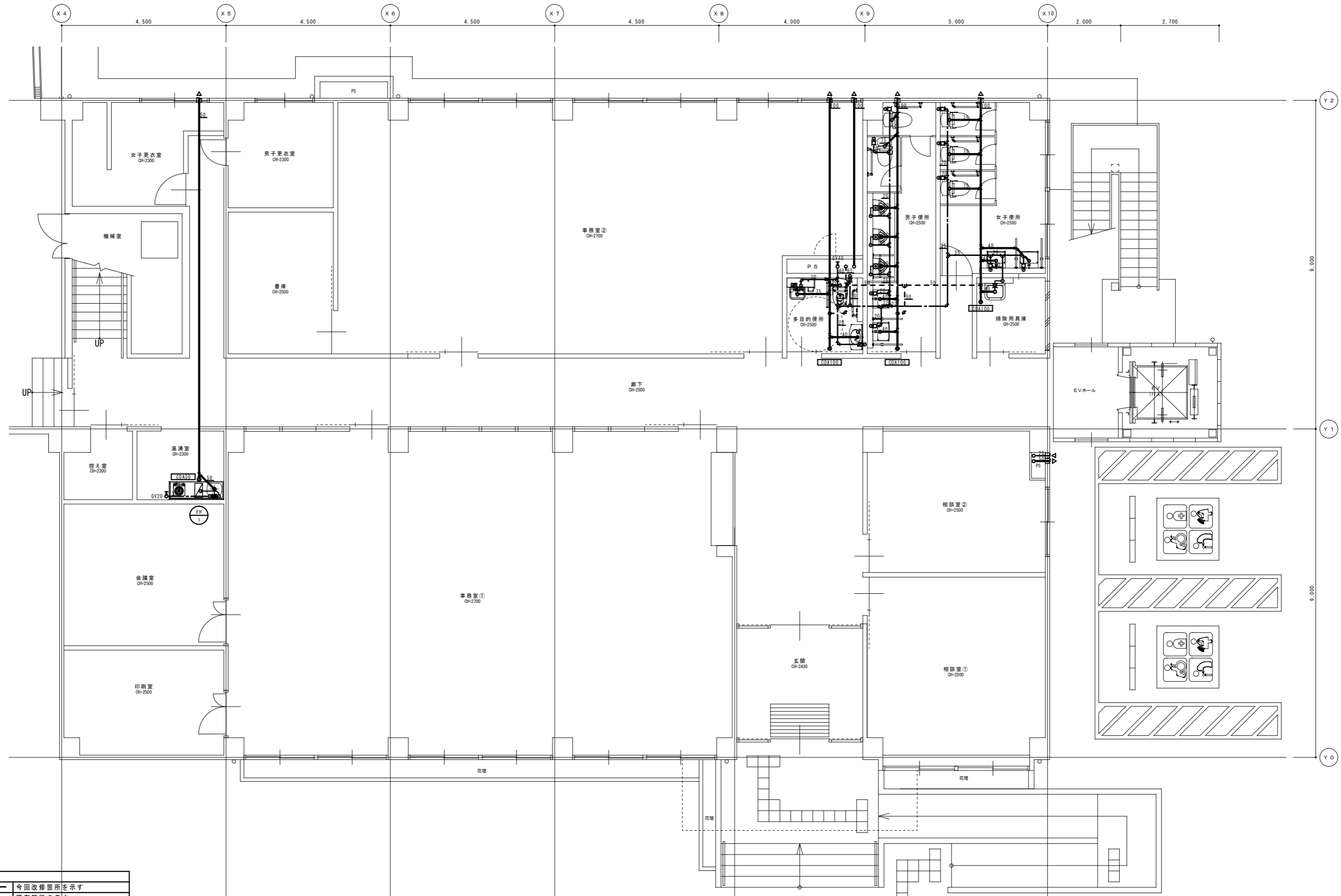
洗面化粧台	電気温水器・水栓共	1	撤去
化粧鏡		1	撤去

男子便所 既存機器表

洋風便器	LT・紙巻器共	1	撤去
和風便器	LT・紙巻器共	2	撤去
小便器	FV共	3	撤去
手洗器		1	撤去
化粧棚		1	撤去
化粧鏡		1	撤去
掃除流し		1	撤去

女子便所 既存機器表

洋風便器	LT・紙巻器共	1	撤去
和風便器	LT・紙巻器共	1	撤去
手洗器		1	撤去
化粧棚		1	撤去
化粧鏡		1	撤去

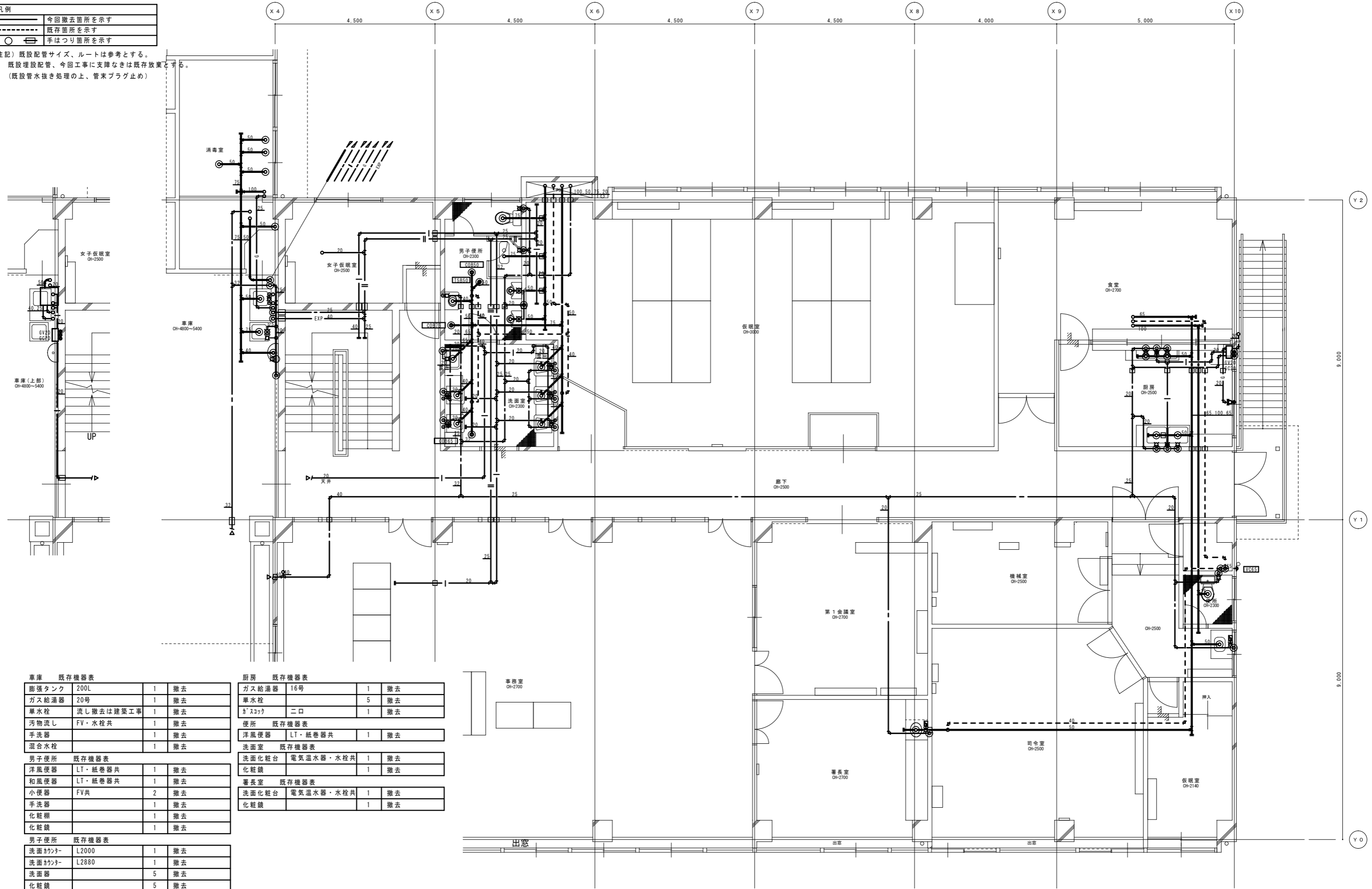


凡例	
—	今回改修箇所を示す
- - - - -	既存箇所を示す
○	コア抜き箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
土間はつり復旧は建築工事とする。

凡例	今回撤去箇所を示す
	既存箇所を示す
	手はつり箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。
 既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。
 (既設管水抜き処理の上、管末プラグ止め)



膨張タンク	200L	1	撤去
ガス給湯器	20号	1	撤去
単水栓	流し撤去は建築工事	1	撤去
汚物流し	FV・水栓共	1	撤去
手洗器		1	撤去
混合水栓		1	撤去

洋風便器	LT・紙巻器共	1	撤去
和風便器	LT・紙巻器共	1	撤去
小便器	FV共	2	撤去
手洗器		1	撤去
化粧棚		1	撤去
化粧鏡		1	撤去

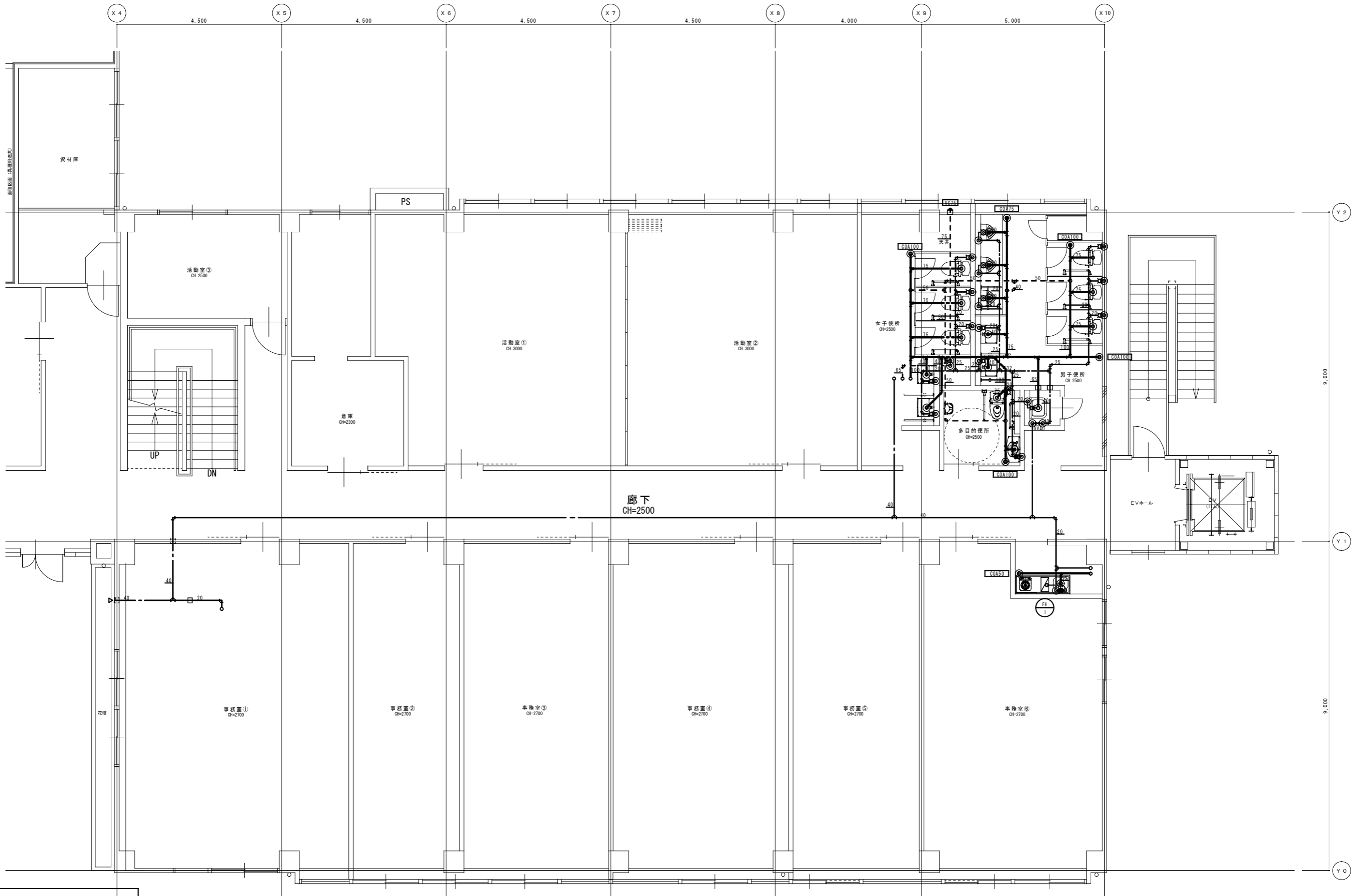
洗面カウンター	L2000	1	撤去
洗面カウンター	L2880	1	撤去
洗面器		5	撤去
化粧鏡		5	撤去
掃除流し		1	撤去

ガス給湯器	16号	1	撤去
単水栓		5	撤去
ガスコック	二口	1	撤去

洋風便器	LT・紙巻器共	1	撤去
------	---------	---	----

洗面化粧台	電気温水器・水栓共	1	撤去
化粧鏡		1	撤去

洗面化粧台	電気温水器・水栓共	1	撤去
化粧鏡		1	撤去



凡例	
	今回改修箇所を示す
	既存箇所を示す
	コア抜き箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。

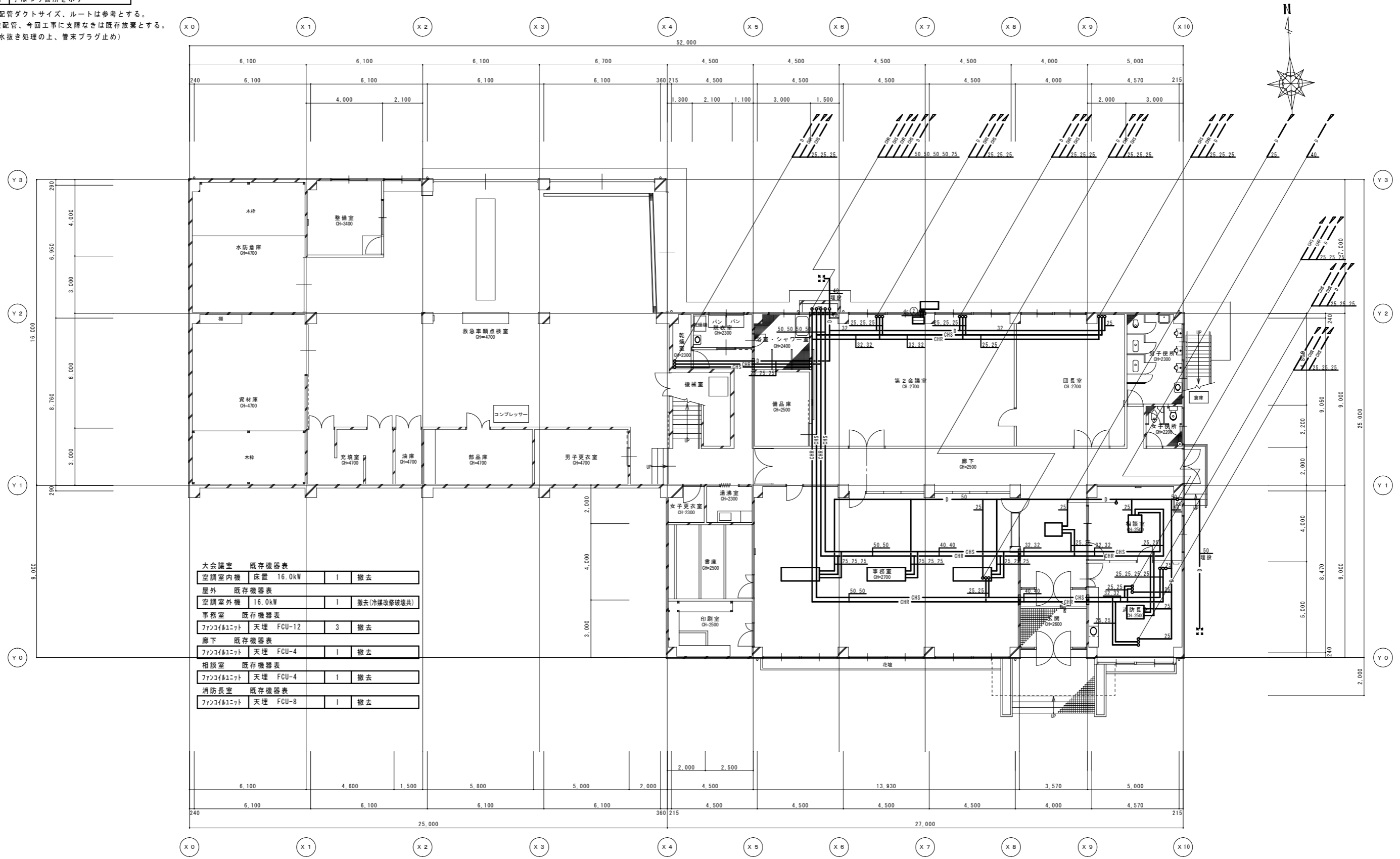
工号	(仮称) 伊賀市総合福祉会館改修工事(機械設備工事)	承認	管理建築士	印
図名	2階改修平面詳細図 給排水衛生設備	縮尺	1/50 (A1) 1/100 (A3)	図番
			M-13	

空調機器表 形式：空冷ヒートポンプ式

機器番号	機器名称 参考型番	形式・仕様	電気容量			台数	設置場所及び備考	機器番号	機器名称 参考型番	形式・仕様	電気容量			台数	設置場所及び備考
			電源	圧縮機	消費電力						電源	圧縮機	消費電力		
			(V)	(KW)	(KW)						(V)	(KW)	(KW)		
PAC-1	パッケージエアコン	形式 天カセ4方向 同時ツイン	3-200	5.8	冷 9.83	1	1F事務室①	PAC-10	パッケージエアコン	形式 天カセ4方向	3-200	0.95	冷 1.05	1	1F相談室②
		冷房能力 定格 25.0(5.8~28.0) kW			暖 8.09					冷房能力 定格 5.0(1.3~5.6) kW			暖 1.14		
	RCI-AP280GHP5	暖房能力 定格 28.0(7.0~35.0) kW			低温 10.9				RCI-GP56RGH1	暖房能力 定格 5.6(1.4~7.1) kW			低温 1.91		
		付属品 化粧パネル、リモコン、フィルター、他一式共								付属品 化粧パネル、リモコン、他一式共					
		基礎 タイガーベース(防振ゴム敷設)					SUS転倒防止金物固定			基礎 タイガーベース(防振ゴム敷設)					SUS転倒防止金物固定
PAC-2	パッケージエアコン	形式 天カセ2方向 同時ツイン	3-200	4.0	冷 5.99	1	1F事務室②	PAC-11	パッケージエアコン	形式 天カセ4方向	3-200	0.65	冷 0.774	1	1F会議室
		冷房能力 定格 20.0(4.6~22.4) kW			暖 5.47					冷房能力 定格 4.0(1.1~4.5) kW			暖 0.835		
	RCI-AP224GHP5	暖房能力 定格 22.4(5.6~28.0) kW			低温 6.75				RCI-GP45RGH1	暖房能力 定格 4.5(1.2~5.9) kW			低温 1.65		
		付属品 化粧パネル、リモコン、フィルター、他一式共								付属品 化粧パネル、リモコン、他一式共					
		基礎 タイガーベース(防振ゴム敷設)					SUS転倒防止金物固定			基礎 タイガーベース(防振ゴム敷設)					SUS転倒防止金物固定
PAC-3	パッケージエアコン	形式 天カセ4方向	3-200	3.4	冷 3.9	2	2F会議室①、事務室①	RAC-1	ルームエアコン	形式 壁掛け形	1-100	0.95	冷 1.23	2	1F女子更衣室
		冷房能力 定格 14.0(3.2~16.0) kW			暖 4.01					冷房能力 定格 3.6(0.3~3.7) kW			暖 1.09	2F活動室③	
	RCI-GP160RGH1	暖房能力 定格 16.0(4.0~20.2) kW			低温 5.85				RAS-E36H	暖房能力 定格 4.2(0.2~5.1) kW			低温 1.43		
		付属品 化粧パネル、リモコン、他一式共								付属品 ワイヤレスリモコン、他一式共					
		基礎 タイガーベース(防振ゴム敷設)					SUS転倒防止金物固定			基礎 タイガーベース(防振ゴム敷設)					SUS転倒防止金物固定
PAC-4	パッケージエアコン	形式 天カセ4方向	3-200	2.65	冷 3.16	1	2F事務室⑥	RAC-2	ルームエアコン	形式 壁掛け形	1-100	0.75	冷 0.7	1	1F男子更衣室
		冷房能力 定格 12.5(3.1~14.0) kW			暖 3.21					冷房能力 定格 2.8(0.3~3.3) kW			暖 0.79		
	RCI-GP140RGH1	暖房能力 定格 14.0(3.5~18.2) kW			低温 5.71				RAS-E28H	暖房能力 定格 3.6(0.2~5.1) kW			低温 1.43		
		付属品 化粧パネル、リモコン、他一式共								付属品 ワイヤレスリモコン、他一式共					
		基礎 タイガーベース(防振ゴム敷設)					SUS転倒防止金物固定			基礎 タイガーベース(防振ゴム敷設)					SUS転倒防止金物固定
PAC-5	パッケージエアコン	形式 天カセ4方向	3-200	1.85	冷 2.26	2	2F活動室①・②	RAC-3	ルームエアコン	形式 壁掛け形	1-100	0.6	冷 0.55	1	1F控え室
		冷房能力 定格 10.0(2.5~11.2) kW			暖 2.37					冷房能力 定格 2.2(0.3~2.8) kW			暖 0.505		
	RCI-GP112RGH1	暖房能力 定格 11.2(2.8~14.0) kW			低温 4.17				RAS-E22H	暖房能力 定格 2.5(0.2~4.6) kW			低温 1.18		
		付属品 化粧パネル、リモコン、他一式共								付属品 ワイヤレスリモコン、ドレンアップキット、他一式共					
		基礎 タイガーベース(防振ゴム敷設)					SUS転倒防止金物固定			基礎 タイガーベース(防振ゴム敷設)					SUS転倒防止金物固定
PAC-6	パッケージエアコン	形式 天カセ2方向	3-200	1.85	冷 2.59	1	2F事務室④	注記	室外機-室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とする。 消費電力は参考とする。 高調波対策を必要とする機器に関してはフィルターを取付のこと。						
		冷房能力 定格 10.0(2.5~11.2) kW			暖 2.69										
	RCID-GP112RGH1	暖房能力 定格 11.2(2.8~14.0) kW			低温 4.18										
		付属品 化粧パネル、リモコン、他一式共													
		基礎 タイガーベース(防振ゴム敷設)					SUS転倒防止金物固定								
PAC-7	パッケージエアコン	形式 天カセ4方向	3-200	1.4	冷 1.63	2	1F相談室①								
		冷房能力 定格 7.1(1.8~8.0) kW			暖 1.67		2F会議室②								
	RCI-GP80RGH1	暖房能力 定格 8.0(2.0~10.6) kW			低温 2.49										
		付属品 化粧パネル、リモコン、他一式共													
		基礎 タイガーベース(防振ゴム敷設)					SUS転倒防止金物固定								
PAC-8	パッケージエアコン	形式 天カセ2方向	3-200	1.4	冷 1.81	2	2F事務室③・⑤								
		冷房能力 定格 7.1(1.8~8.0) kW			暖 2.01										
	RCID-GP80RGH1	暖房能力 定格 8.0(2.0~10.6) kW			低温 2.78										
		付属品 化粧パネル、リモコン、他一式共													
		基礎 タイガーベース(防振ゴム敷設)					SUS転倒防止金物固定								
PAC-9	パッケージエアコン	形式 天カセ2方向	3-200	1.05	冷 1.52	1	2F事務室②								
		冷房能力 定格 5.6(1.4~6.3) kW			暖 1.69										
	RCID-GP63RGH1	暖房能力 定格 6.3(1.6~8.0) kW			低温 2.45										
		付属品 化粧パネル、リモコン、他一式共													
		基礎 タイガーベース(防振ゴム敷設)					SUS転倒防止金物固定								

○	今回撤去箇所を示す
---	既存箇所を示す
○	手はつり箇所を示す

注記) 既設配管ダクトサイズ、ルートは参考とする。
 既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。
 (既設管水抜き処理の上、管末プラグ止め)



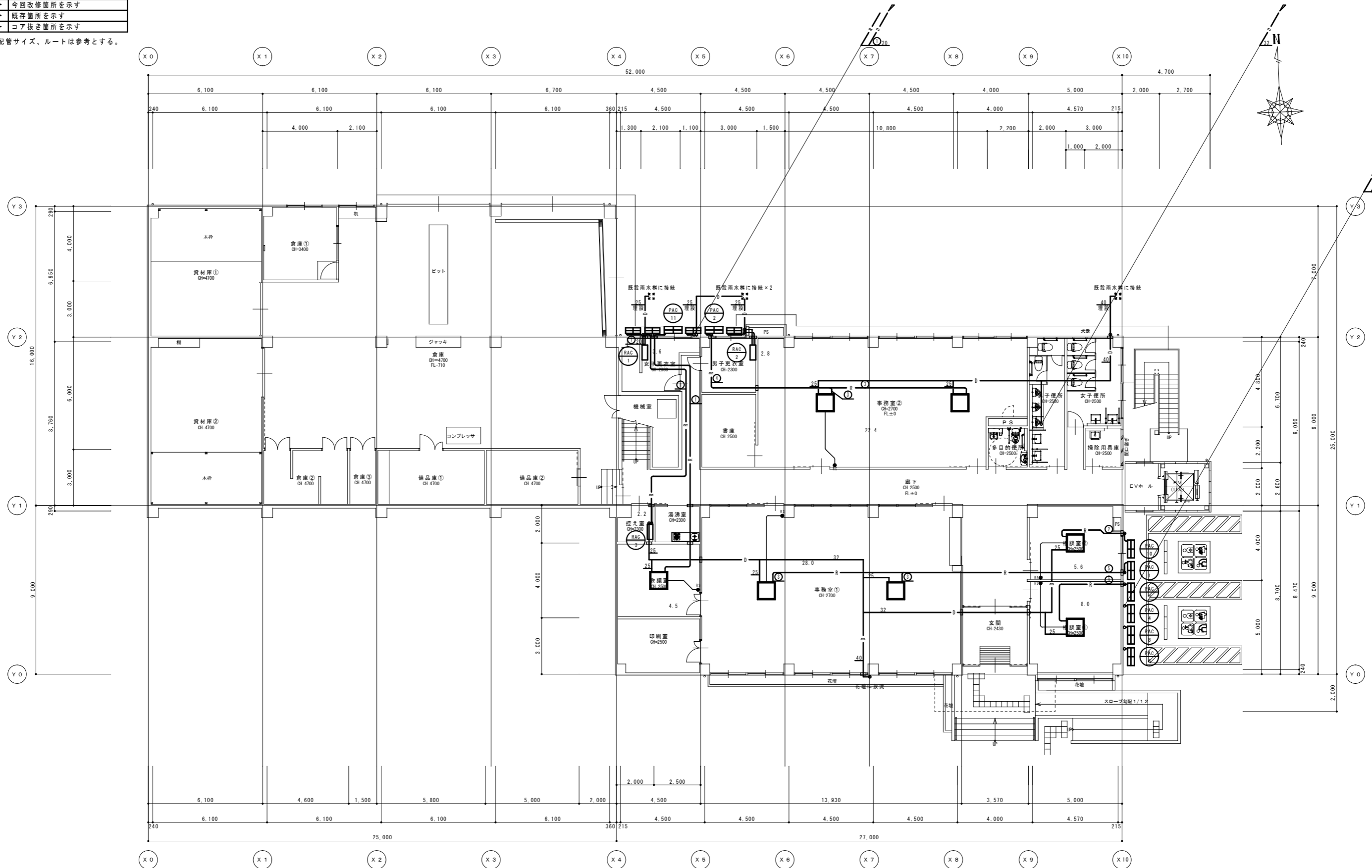
大会議室 既存機器表			
空調室内機	床置	16.0kW	1 撤去
屋外 既存機器表			
空調室外機		16.0kW	1 撤去(冷媒改修破壊共)
事務室 既存機器表			
ファンコイルユニット	天理	FCU-12	3 撤去
廊下 既存機器表			
ファンコイルユニット	天理	FCU-4	1 撤去
相談室 既存機器表			
ファンコイルユニット	天理	FCU-4	1 撤去
消防長室 既存機器表			
ファンコイルユニット	天理	FCU-8	1 撤去

1階現況平面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

特記	工事名	(仮称)伊賀市総合福祉会館改修工事(機械設備工事)		承認	管理建築士	印
	図名	1階現況平面図 空気調和設備	縮尺 1/100 (A1) 1/200 (A3)			

凡例	今回改修箇所を示す
-----	既存箇所を示す
○	コア抜き箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。



冷媒配管リスト

液管	ガス管
○ 6.4φ	○ 9.5φ
○ 6.4φ	○ 12.7φ
○ 9.5φ	○ 15.9φ
○ 9.5φ	○ 25.4φ
○ 12.7φ	○ 25.4φ

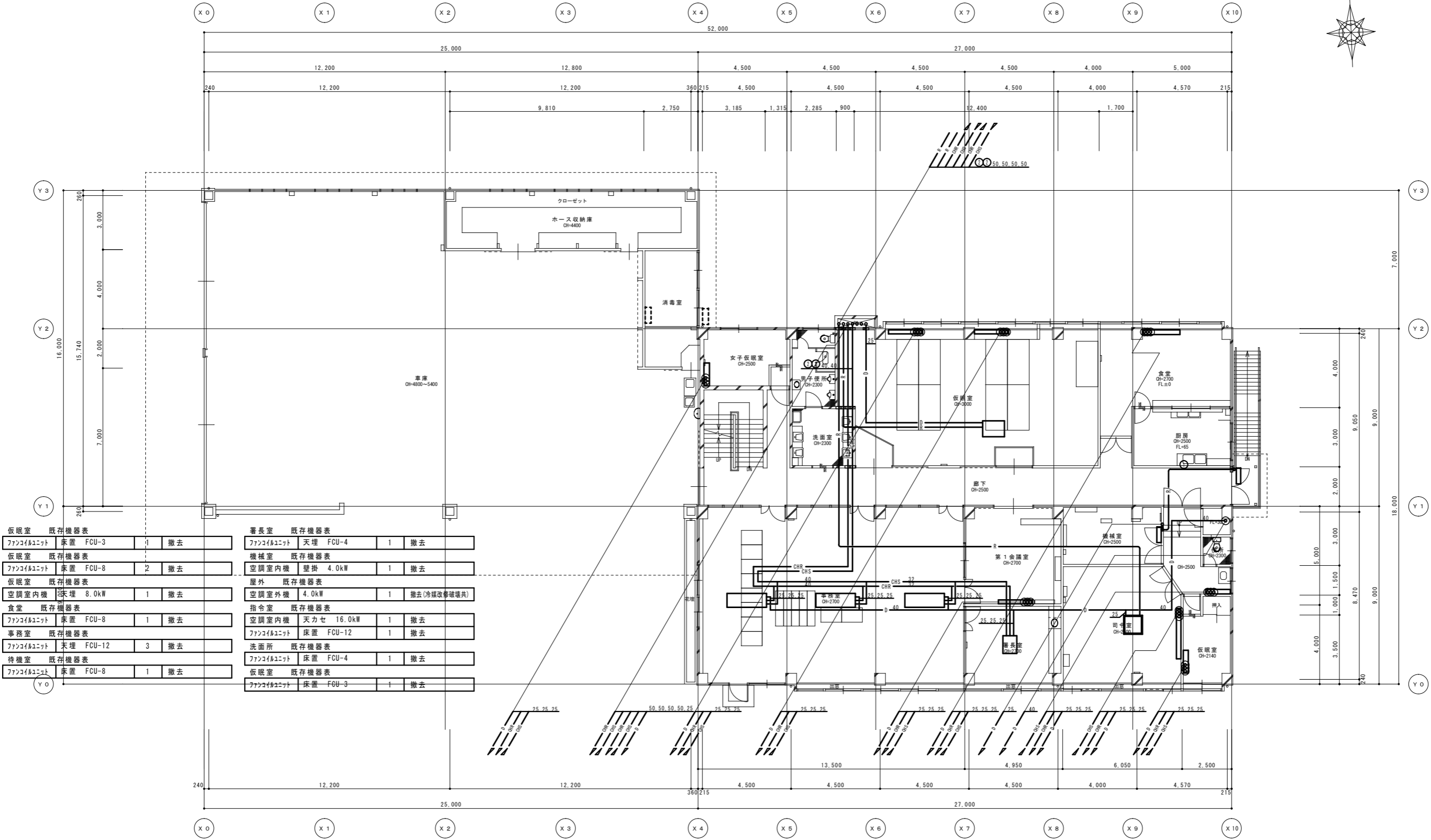
凡例	区画貫通箇所を示す(冷媒管)
---	区画貫通箇所を示す(不燃材以外の管)

1階改修平面図 1/100 (A1)
1/200 (A3)

特記	工事名 (仮称) 伊賀市総合福祉会館改修工事(機械設備工事)	承認	管理建築士	印
	図名 1階改修平面図 空調設備	縮尺 1/100 (A1) 1/200 (A3)	図番 M-16	

○	今回撤去箇所を示す
---	既存箇所を示す
○	手はつり箇所を示す

注記) 既設配管ダクトサイズ、ルートは参考とする。
 既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。
 (既設管水抜き処理の上、管末プラグ止め)



仮眠室	既存機器表	ファンコイユニット	床置 FCU-3	1	撤去
仮眠室	既存機器表	ファンコイユニット	床置 FCU-8	2	撤去
仮眠室	既存機器表	空調室内機	天埋 8.0kW	1	撤去
食堂	既存機器表	ファンコイユニット	床置 FCU-8	1	撤去
事務室	既存機器表	ファンコイユニット	天埋 FCU-12	3	撤去
待機室	既存機器表	ファンコイユニット	床置 FCU-8	1	撤去
署長室	既存機器表	ファンコイユニット	天埋 FCU-4	1	撤去
機械室	既存機器表	空調室内機	壁掛 4.0kW	1	撤去
屋外	既存機器表	空調室外機	4.0kW	1	撤去(冷媒改修破壊共)
指令室	既存機器表	空調室内機	天力セ 16.0kW	1	撤去
洗面所	既存機器表	ファンコイユニット	床置 FCU-12	1	撤去
仮眠室	既存機器表	ファンコイユニット	床置 FCU-4	1	撤去
仮眠室	既存機器表	ファンコイユニット	床置 FCU-3	1	撤去

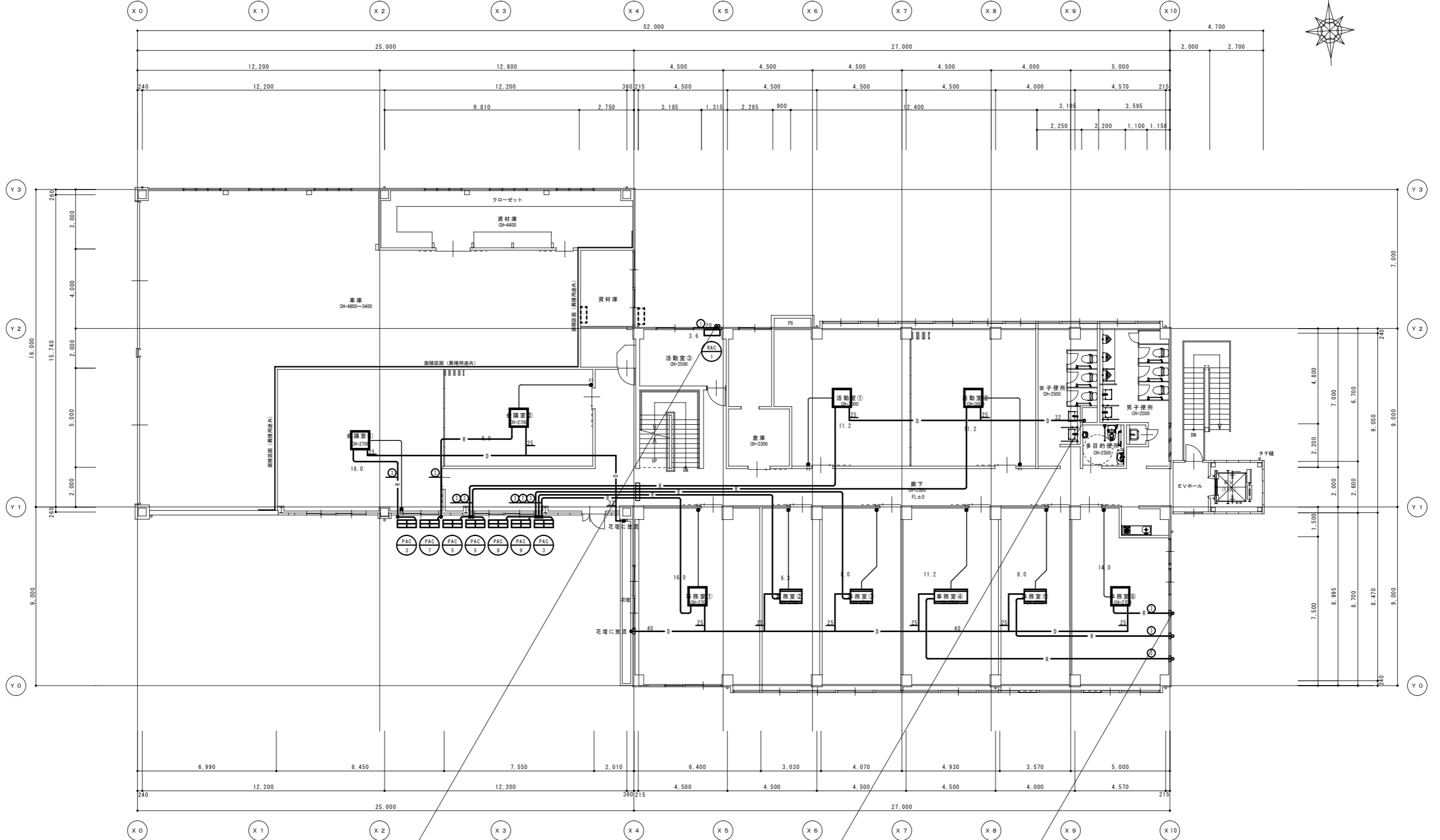
2階現況平面図 1/100 (A1)
 1/200 (A3)

冷媒配管リスト	
○	6.4φ ガス管
○	9.5φ 15.9φ

流り配管共全て撤去
 リモコン及び配管は全て撤去

凡例	今回改修箇所を示す
-----	既存箇所を示す
○	コア抜き箇所を示す

注記) 既設配管サイズ、ルートは参考とする。



液管	ガス管
○	6.4φ
○	9.5φ
○	12.7φ
○	15.9φ
○	25.4φ
○	25.4φ

●	区画貫通箇所を示す(冷媒管)
—	区画貫通箇所を示す(不燃材以外の管)

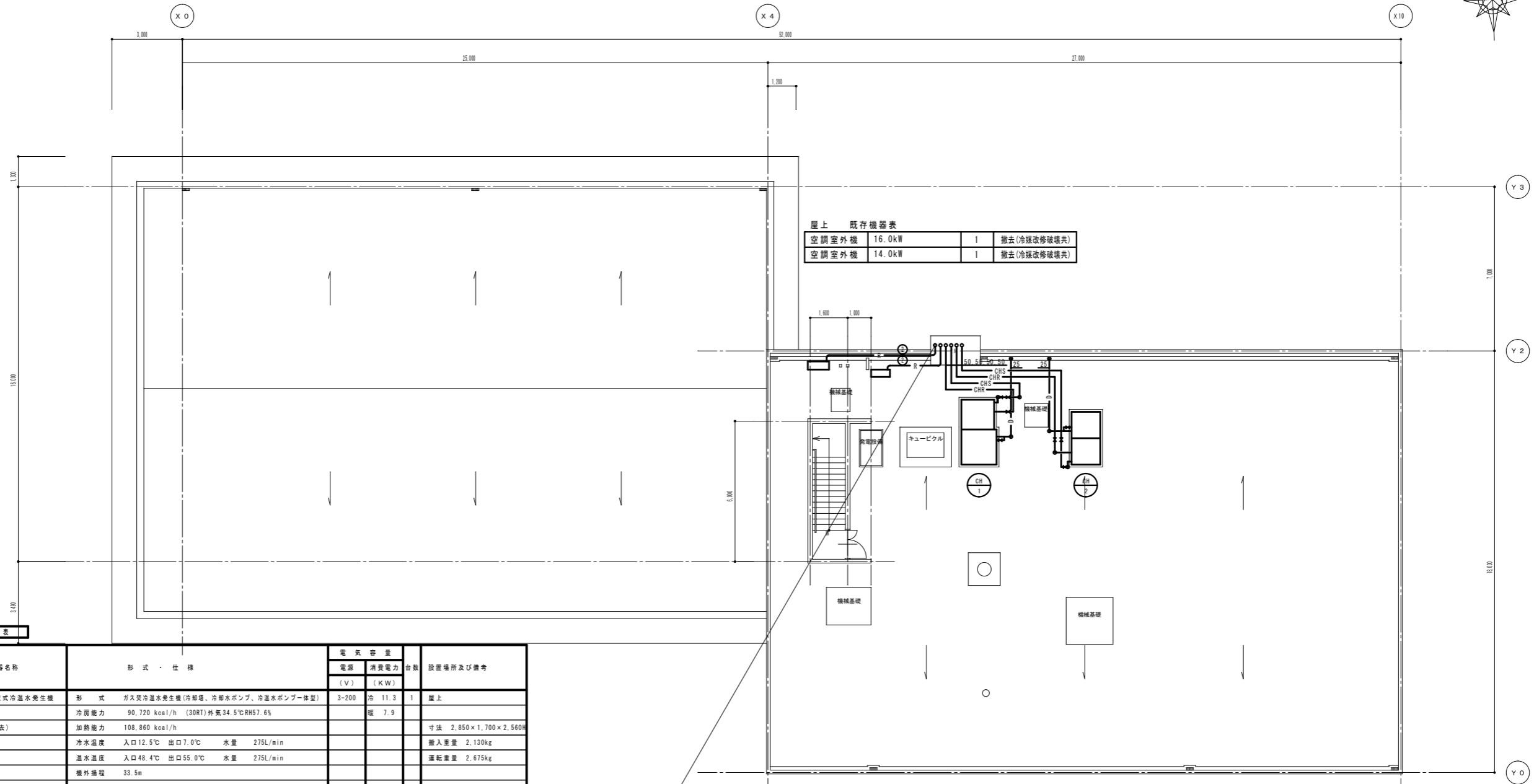
渡り配線 EM-GZ250-3C
リモコン配線 EM-GEE1.2550-2C
壁立下り配線はPF16にて保護
●空調リモコンを示す

2階改修平面図 1/100 (A1)
1/200 (A3)

特記		工事名	(仮称)伊賀市総合福祉会館改修工事(機械設備工事)	承認	管理建築士	印	
		図名	2階改修平面図 空気調和設備	縮尺	1/100 (A1) 1/200 (A3)	図番	M-18
				製図者			
				承認者			

凡例	今回撤去箇所を示す
	既存箇所を示す
	手はつり箇所を示す

注記) 既設配管ダクトサイズ、ルートは参考とする。
既設埋設配管、今回工事に支障なきは既存放棄とする。
(既設管水抜き処理の上、管末プラグ止め)



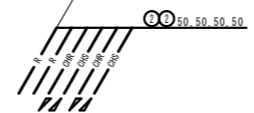
空調室外機	16.0kW	1	撤去(冷媒改修破壊共)
空調室外機	14.0kW	1	撤去(冷媒改修破壊共)

機器番号	機器名称	形式・仕様	電気容量		設置場所及び備考
			電圧 (V)	消費電力 (KW)	
CH-1	吸収式冷水発生機	形式 ガス式冷水発生機(冷却機、冷却水ポンプ、冷水ポンプ一体型)	3-200	冷 11.3	屋上
	(撤去)	冷房能力 90,720 kcal/h (30RT) 外気34.5℃RH57.6%		機 7.9	
		加熱能力 108,860 kcal/h			寸法 2,850×1,700×2,560H
		冷水温度 入口12.5℃ 出口7.0℃ 水量 275L/min			搬入重量 2,130kg
		温水温度 入口48.4℃ 出口55.0℃ 水量 275L/min			運転重量 2,675kg
		機外幅程 33.5m			
		冷却水温度 入口32.0℃ 出口38.0℃ 水量 457.1L/min			既設基礎残量
		燃料 都市ガス 消費量 131,160kcal/h			※溶液改修に伴う処理の事
		冷却ファン 1.0kW×1 冷却水ポンプ 1.5kW×1			※本体処分はA-3-引取り
		冷水水ポンプ 5.5kW×1			
		(内臓システム)			
		保有水量 12.6L 有効膨張量 7.2L			
CH-2	吸収式冷水発生機	形式 ガス式冷水発生機(冷却機、冷却水ポンプ、冷水ポンプ一体型)	3-200	冷 5.6	屋上
	(撤去)	冷房能力 45,360 kcal/h (15RT) 外気34.5℃RH57.6%		機 3.9	
		加熱能力 54,430 kcal/h			寸法 2,405×1,410×2,520H
		冷水温度 入口12.5℃ 出口7.0℃ 水量 137.5L/min			搬入重量 1,360kg
		温水温度 入口48.4℃ 出口55.0℃ 水量 137.5L/min			運転重量 1,720kg
		機外幅程 24.8m			
		冷却水温度 入口32.0℃ 出口38.0℃ 水量 228.5L/min			既設基礎残量
		燃料 都市ガス 消費量 65,580kcal/h			※溶液改修に伴う処理の事
		冷却ファン 0.36kW×1 冷却水ポンプ 0.75kW×1			※本体処分はA-3-引取り
		冷水水ポンプ 2.2kW×1			
		(内臓システム)			
		保有水量 8.8L 有効膨張量 5.2L			
注記	消費電力及び仕様は参考とする。				

冷水水(往)	50	GV50, FJ50, GV20, 圧力計, 温度計
冷水水(還)	50	GV50, FJ50, 温度計
オーバー	25	
ドレン	25	GV25
システムドレン	25	

冷水水(往)	50	GV50, FJ50, GV20, 圧力計, 温度計
冷水水(還)	50	GV50, FJ50, 温度計
オーバー	25	
ドレン	20	GV20
システムドレン	25	

RF階現況平面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)



液管	ガス管
① 6.4φ	9.5φ
② 9.5φ	15.9φ

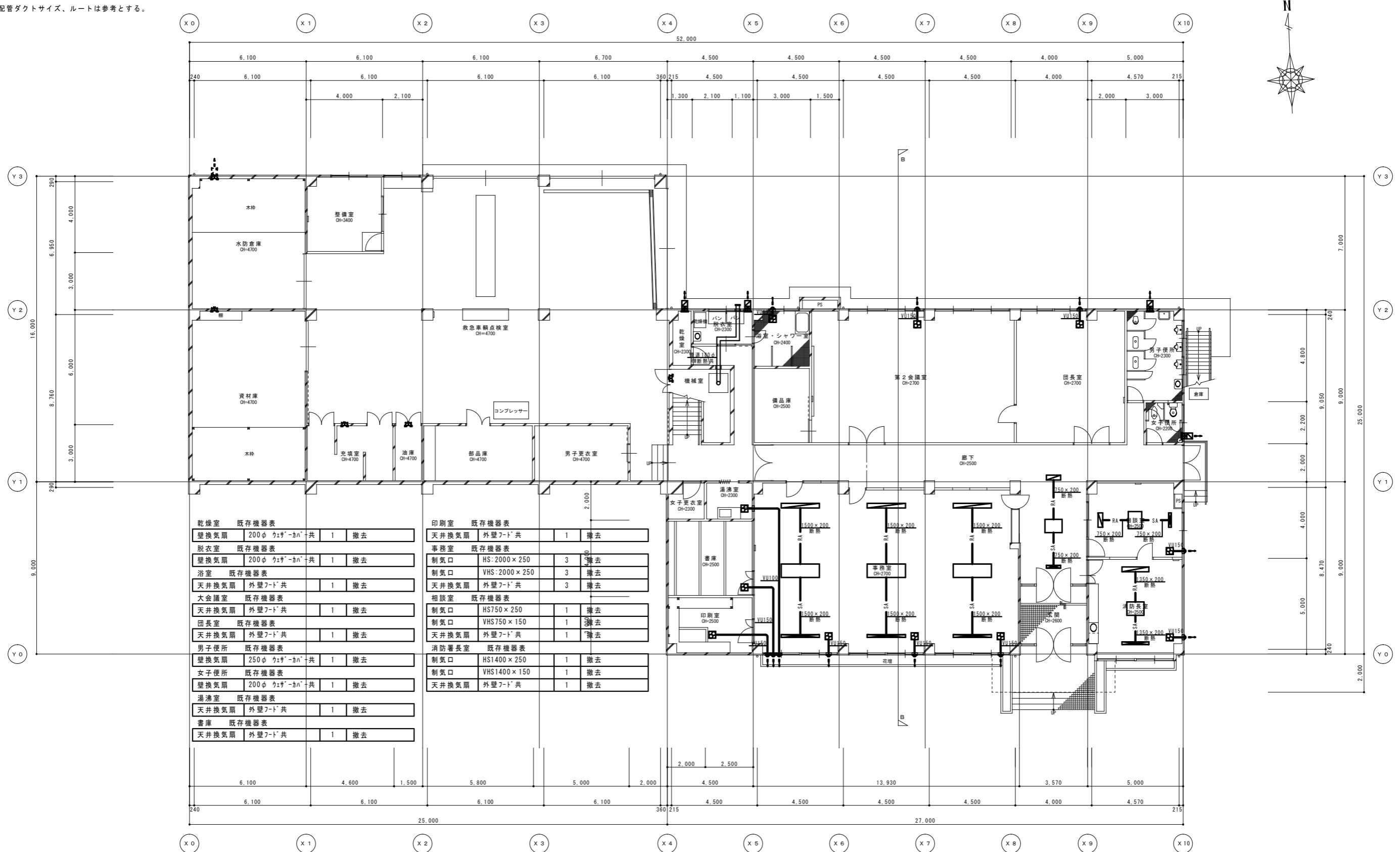
流り配線共全て撤去
リモコン及び配線は全て撤去

換気機器表 ※フードは建築外壁に合わせ焼付塗装のこと

機器番号	機器名称 参考型番	形式・仕様	電気容量		台数	設置場所及び備考
			電源	消費電力		
			(φ-V)	(W)		
F-1	壁換気扇	形式 格子タイプ	1-100	18.5	3	1F女子便所
	EX-25EK6-C	風量 550 m ³ /h 7 Pa				2F男子便所・女子便所
		付属品 SUSメッシュカバー(防虫網付)、木枠、他一式				
F-2	有圧換気扇	形式 低騒音形 排気用	1-100	113.0	1	EV昇降路上部
	EFW-35CSA	風量 2,400 m ³ /h 40 Pa				
		付属品 SUSメッシュカバー(防虫網付)、風圧シッター、バックガード、他一式				
V-1	天井換気扇	形式 低騒音形	1-100	82.0	1	1F男子便所
	VD-23ZB10	風量 450 m ³ /h 100 Pa				
		付属品 SUS深形フード、他一式共				
V-2	天井換気扇	形式 低騒音形 インテリア格子タイプ	1-100	62.0	1	1F事務室②
	VD-20ZXP10-C	風量 400 m ³ /h 80 Pa				
	24時間換気	付属品 SUS深形フード、他一式共				
V-3	天井換気扇	形式 低騒音形 インテリア格子タイプ	1-100	46.0	1	2F会議室①・②
	VD-20ZX10-C	風量 320 m ³ /h 60 Pa				
	24時間換気	付属品 SUS深形フード、他一式共				
V-4	天井換気扇	形式 低騒音形 インテリア格子タイプ	1-100	36.0	3	1F事務室①
	VD-18ZXP10-C	風量 280 m ³ /h 40 Pa				2F事務室①
	24時間換気	付属品 SUS深形フード、他一式共				
V-5	天井換気扇	形式 低騒音形	1-100	29.5	1	1F活動室①
	VD-18ZB10	風量 250 m ³ /h 30 Pa				
	24時間換気	付属品 SUS深形フード、他一式共				
V-6	天井換気扇	形式 低騒音形 インテリア格子タイプ	1-100	28.5	2	2F事務室④・⑥
	VD-18ZX10-C	風量 220 m ³ /h 40 Pa				
	24時間換気	付属品 SUS深形フード、他一式共				
V-7	天井換気扇	形式 低騒音形	1-100	23.0	3	2F活動室②、倉庫
	VD-15ZP10	風量 160 m ³ /h 60 Pa				2F事務室③
	内2台24時間換気	付属品 SUS深形フード、他一式共				
V-8	天井換気扇	形式 低騒音形	1-100	15.5	9	1F男子更衣室、女子更衣室、多目的便所
	VD-15Z10	風量 140 m ³ /h 40 Pa				1F掃除用具庫、会議室、印刷室
	内4台24時間換気	付属品 SUS深形フード、他一式共				2F多目的便所、事務室②・⑤
V-9	天井換気扇	形式 低騒音形 台所用	1-100	27.0	2	1F湯沸室、2F湯沸室
	VD-13ZY9	風量 130 m ³ /h 60 Pa				
		付属品 SUS深形フード、他一式共				
V-10	天井換気扇	形式 低騒音形	1-100	15.5	3	1F書庫、相談室①・②
	VD-13Z10	風量 100 m ³ /h 40 Pa				
	内2台24時間換気	付属品 SUS深形フード、他一式共				
V-11	天井換気扇	形式 低騒音形	1-100	9.3	2	1F控入室
	VD-10Z10	風量 70 m ³ /h 30 Pa				2F活動室③
	24時間換気	付属品 SUS深形フード、他一式共				
OA-1	給気口	形式 給排気グリル フィルター付 天井・壁取付形 φ200			4	図示参照
	P-23GLF6					
		付属品 SUS深形フード(防虫網付)、他一式共				
OA-2	給気口	形式 給排気グリル フィルター付 天井・壁取付形 φ150			18	図示参照
	P-18GLF6					
		付属品 SUS深形フード(防虫網付)、他一式共				
TH-1	温度スイッチ	仕様 設定温度範囲 0℃～+50℃	1-100		1	EV昇降路上部
	FS-6TE1	使用条件 本体周囲温度 -10℃～+50℃ 常温において相対湿度 90%以下				
注記	24Hと表記は24時間換気とする。 消費電力は参考とする。					

凡例	今回撤去箇所を示す
	既存箇所を示す
	手はつり箇所を示す

注記) 既設配管ダクトサイズ、ルートは参考とする。



乾燥室 既存機器表			
壁換気扇	200φ ウレザ'-カー'	共 1	撤去
脱衣室 既存機器表			
壁換気扇	200φ ウレザ'-カー'	共 1	撤去
浴室 既存機器表			
天井換気扇	外壁7-ド'	共 1	撤去
大会議室	既存機器表		
天井換気扇	外壁7-ド'	共 1	撤去
団長室	既存機器表		
天井換気扇	外壁7-ド'	共 1	撤去
男子便所	既存機器表		
壁換気扇	250φ ウレザ'-カー'	共 1	撤去
女子便所	既存機器表		
壁換気扇	200φ ウレザ'-カー'	共 1	撤去
湯沸室 既存機器表			
天井換気扇	外壁7-ド'	共 1	撤去
書庫 既存機器表			
天井換気扇	外壁7-ド'	共 1	撤去

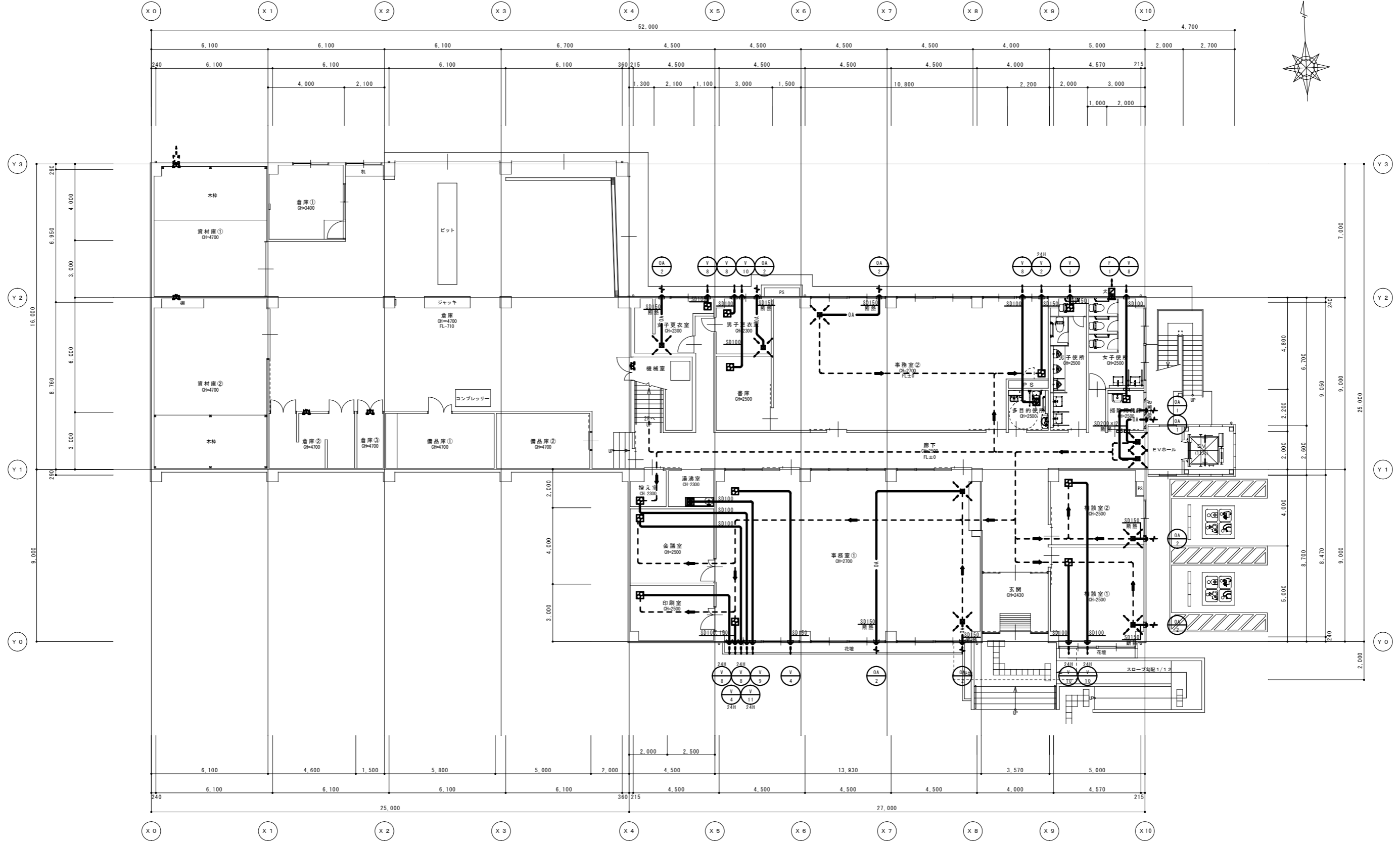
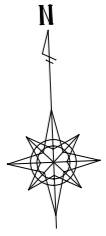
印刷室 既存機器表			
天井換気扇	外壁7-ド'	共 1	撤去
事務室 既存機器表			
制気口	HS:2000×250	3	撤去
制気口	VHS:2000×250	3	撤去
天井換気扇	外壁7-ド'	共 3	撤去
相談室 既存機器表			
制気口	HS750×250	1	撤去
制気口	VHS750×150	1	撤去
天井換気扇	外壁7-ド'	共 1	撤去
消防署長室 既存機器表			
制気口	HS1400×250	1	撤去
制気口	VHS1400×150	1	撤去
天井換気扇	外壁7-ド'	共 1	撤去

1階現況平面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

凡例	今回改修箇所を示す
-----	既存箇所を示す
○	コア抜き箇所を示す

注記) 既設配管ダクトサイズ、ルートは参考とする。

凡例	24時間換気経路を示す
----	-------------

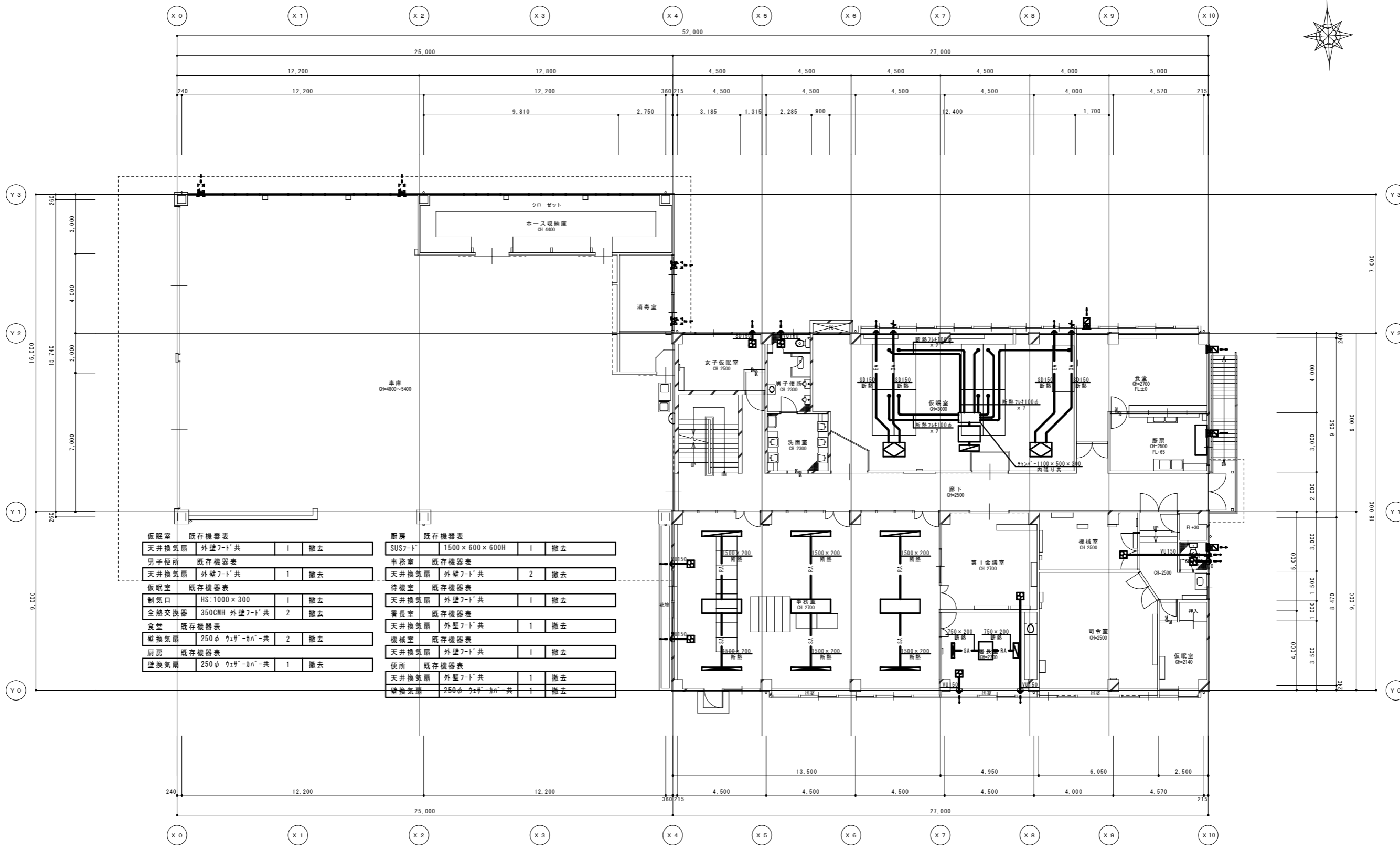
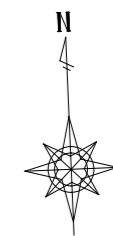


1階改修平面図 1/100 (A1)
1/200 (A3)

特記	工事名	(仮称) 伊賀市総合福祉会館改修工事 (機械設備工事)		承認	管理建築士	印
	図名	1階改修平面図 換気設備	縮尺 1/100 (A1) 1/200 (A3)			

凡例	今回撤去箇所を示す
-----	既存箇所を示す
○	手すり箇所を示す

注記) 既設配管ダクトサイズ、ルートは参考とする。



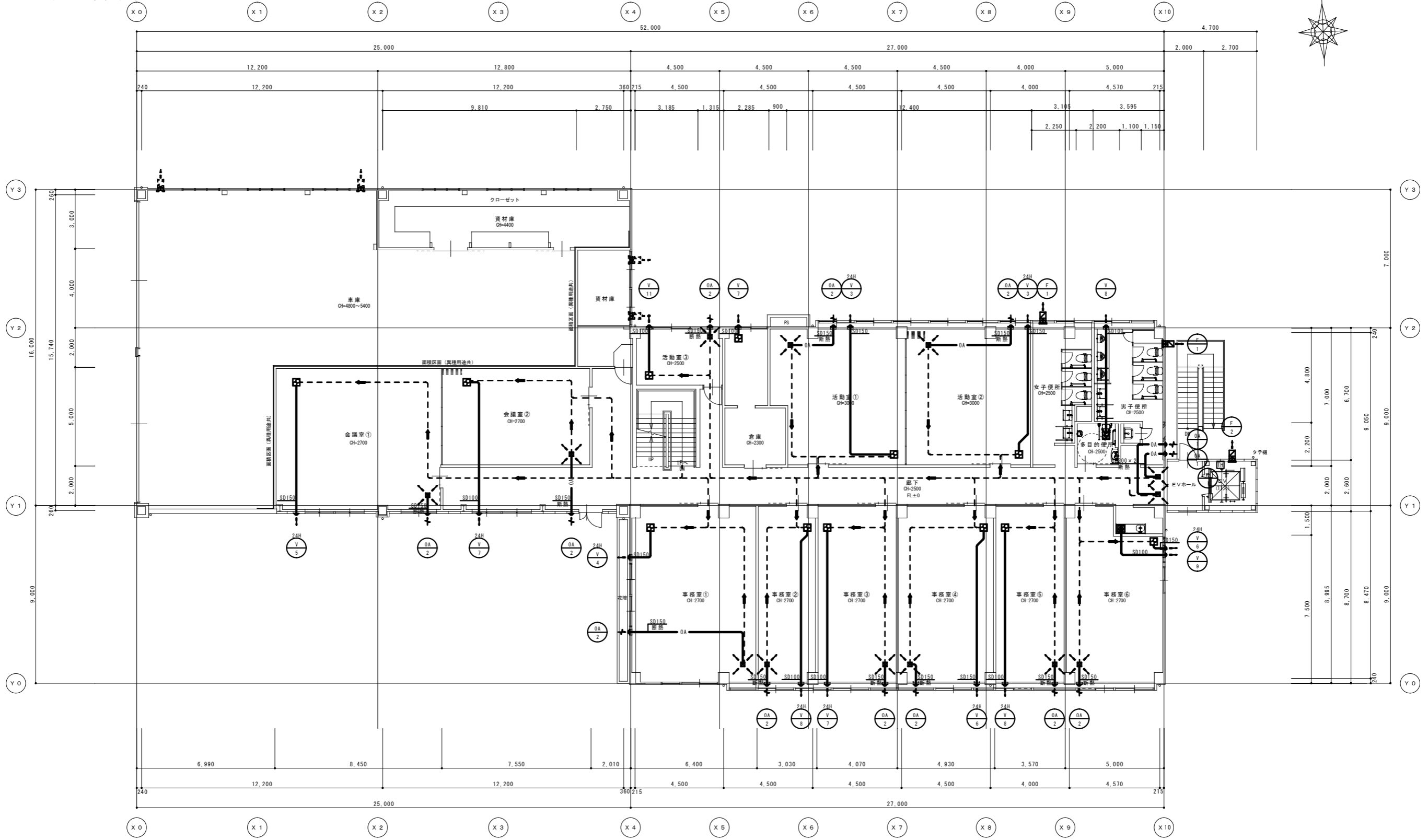
仮眠室 既存機器表 天井換気扇 外壁7-ト'共 1 撤去 男子便所 既存機器表 天井換気扇 外壁7-ト'共 1 撤去 仮眠室 既存機器表 制気口 HS:1000×300 1 撤去 全熱交換器 350CMH 外壁7-ト'共 2 撤去 食堂 既存機器表 壁換気扇 250φ ウレチ-かん'-共 2 撤去 厨房 既存機器表 壁換気扇 250φ ウレチ-かん'-共 1 撤去	厨房 既存機器表 SUS7-ト' 1500×600×600H 1 撤去 事務室 既存機器表 天井換気扇 外壁7-ト'共 2 撤去 待機室 既存機器表 天井換気扇 外壁7-ト'共 1 撤去 署長室 既存機器表 天井換気扇 外壁7-ト'共 1 撤去 機械室 既存機器表 天井換気扇 外壁7-ト'共 1 撤去 便所 既存機器表 天井換気扇 外壁7-ト'共 1 撤去 壁換気扇 250φ ウレチ-かん'-共 1 撤去
--	---

2階現況平面図 1/100 (A1)
1/200 (A3)
1/200 (A3)

凡例	
——	今回改修箇所を示す
-----	既存箇所を示す
○	コア抜き箇所を示す

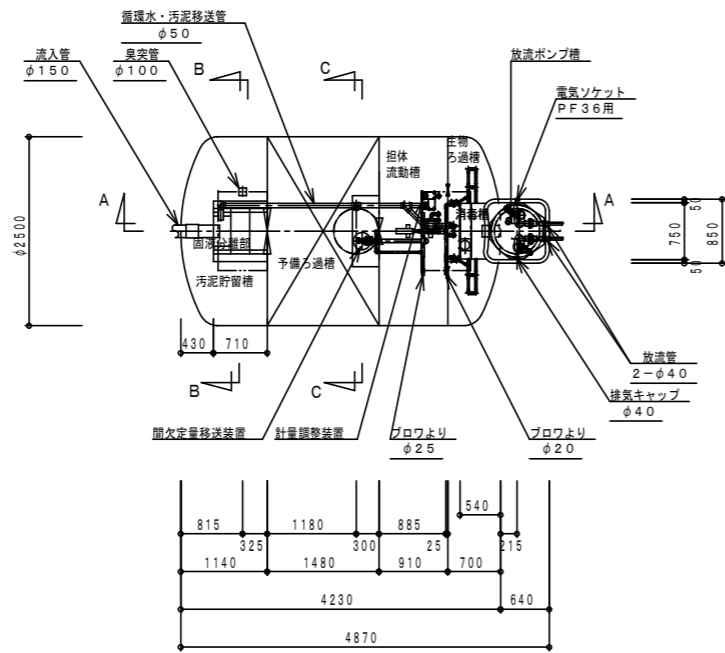
注記) 既設配管ダクトサイズ、ルートは参考とする。

24時間換気経路を示す

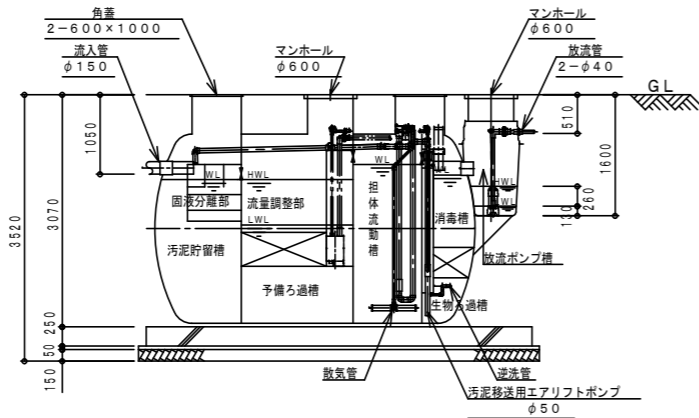


2階改修平面図 1/100 (A1) 1/200 (A3)

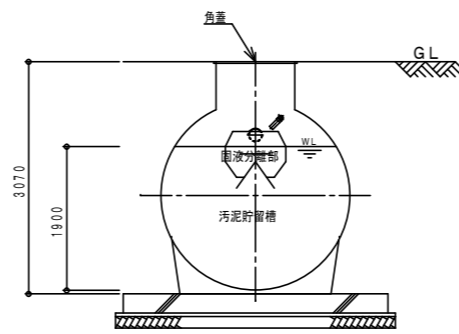
特記	工事名	(仮称) 伊賀市総合福祉会館改修工事 (機械設備工事)		承認	管理建築士 印
	図名	2階改修平面図 換気設備	縮尺 1/100 (A1) 1/200 (A3)	図番 M-24	



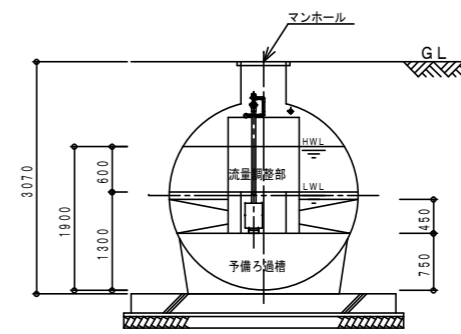
平面図 1:50



A-A 断面図 1:50



B-B 断面図 1:50



C-C 断面図 1:50

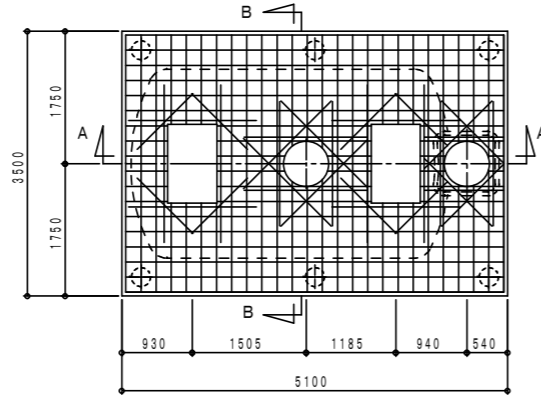
建築基準法第68条の26第1項の規定に基づき、同法施行令第35条 第1項の大臣認定による固液分離型流量調整付拒体流動生物ろ過槽方式		
型式適合認定	認定番号	型01CafOa1014228
	認定年月日	平成24年7月13日
型式認定	認定番号	5-17K-H-001
	認定年月日	平成29年6月12日
型式	日理式浄化槽 NK-CPW70A3型	
処理対象人員	70人	
日平均汚水量	12m ³ /日	
流入BOD	200mg/L	
放流BOD	20mg/L	

容量表	
項目	設計容量/m ³
汚泥貯留槽	3.882
(固液分離部)	(0.187)
予備ろ過槽	5.924
(流量調整部)	(2.106)
拒体流動槽	4.005
生物ろ過槽	2.054
消毒槽	0.219
放流ポンプ槽	0.099
総容量	16.183

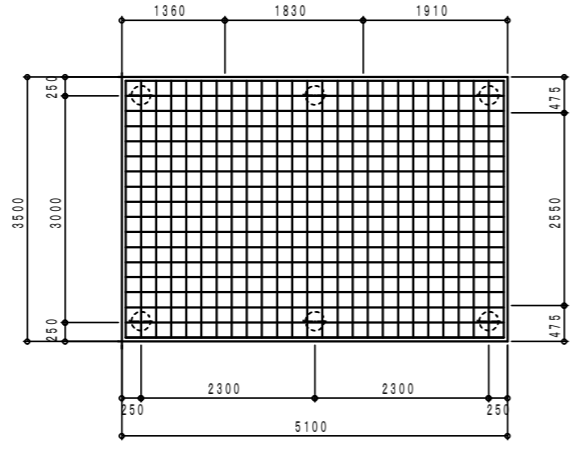
機器仕様表 (単相・100V)				
機器名	口径	出力	吐出量	台数
ブロワ	25A	0.40 kw	0.34 m ³ /min	1台
放流ポンプ	40A	0.15 kw	0.08 m ³ /min	2台

※管理用水栓は10m以内に設置すること(浄化槽工事範囲外)
※全高にはかさ上げ300H含む

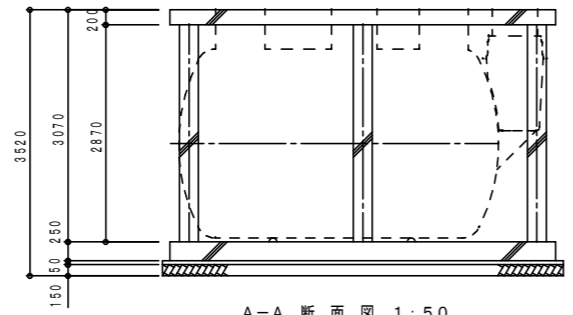
A192686B00



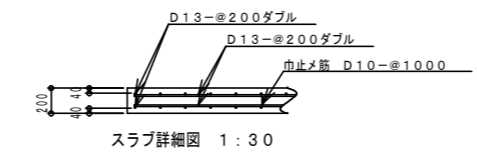
床伏図 1:50



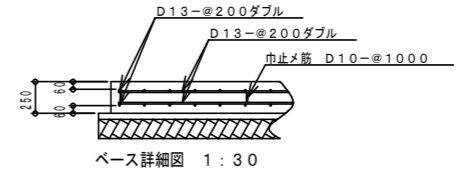
基礎伏図 1:50



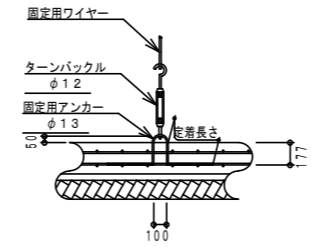
A-A断面図 1:50



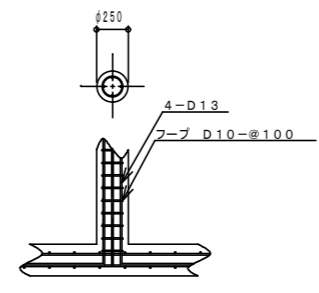
スラブ詳細図 1:30



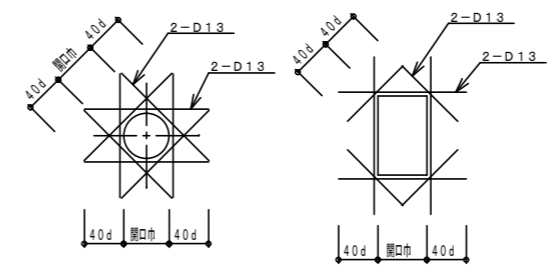
ベース詳細図 1:30



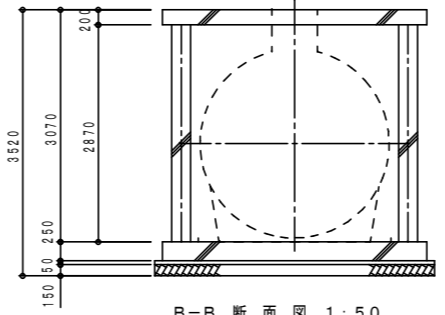
固定用ワイヤー詳細図 1:30
※片側はワイヤークリップ止めとする



支柱詳細図 1:30



開口補強筋詳細図

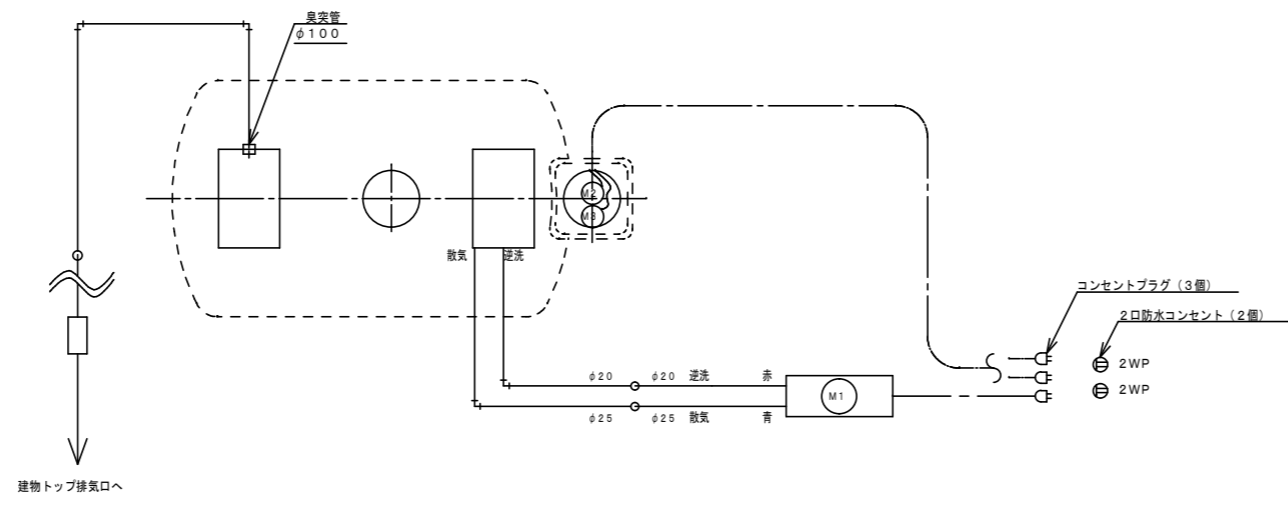


B-B断面図 1:50

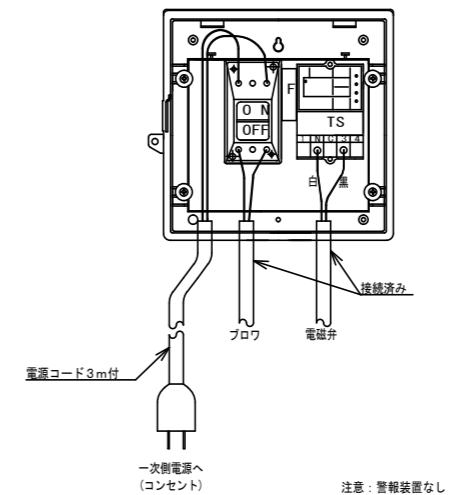
一般事項	
コンクリート	設計基準強度 $FC=21N/mm^2$
鉄筋	異形棒鋼 SD295A
定着及継手	40d d: 鉄筋径

※アンカーは土木工事に含む(材工共)
※全高にはかさ上げ300H含む
※6t耐圧

A192686C00



エア配管 及び 動力配線図

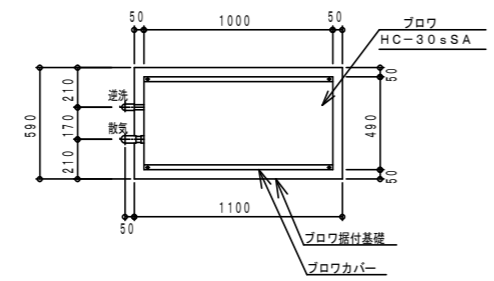


タイマ制御ボックス詳細図

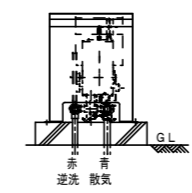
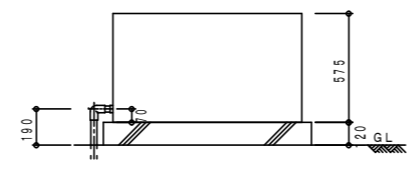
※エア配管は、赤→逆洗、青→散気に正しく配管して下さい。
※臭突管は立ち上げ位置に向かってより勾配になるようにして下さい。

—— (実線) エア配管
- - - (1点鎖線) 動力配線

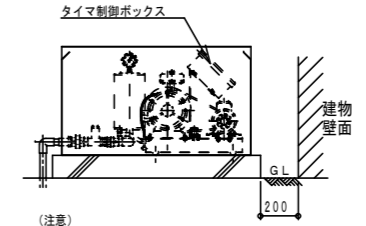
機器負荷仕様表					
記号	機器名称	出力	電圧	電線	電線管(参考)
M1	ブロワ	0.40kw	100V	CV2 □-3°	-
M2	放流ポンプNo. 1	0.15kw	100V	CV2 □-3°	PF36
M3	放流ポンプNo. 2	0.15kw	100V	CV2 □-3°	



ブロワ基礎図



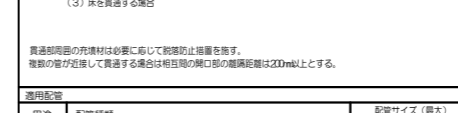
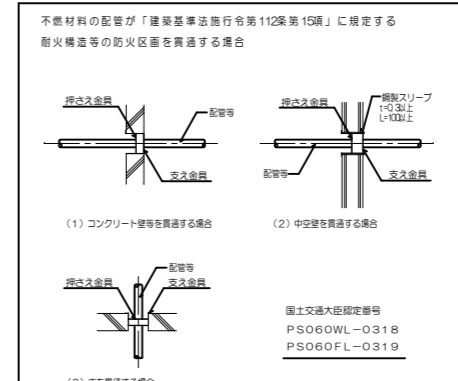
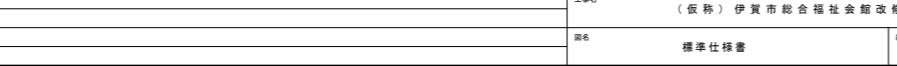
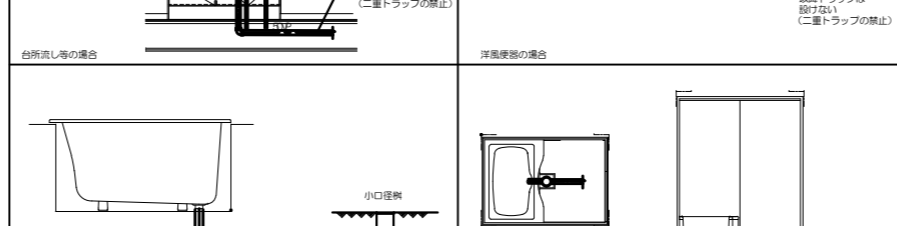
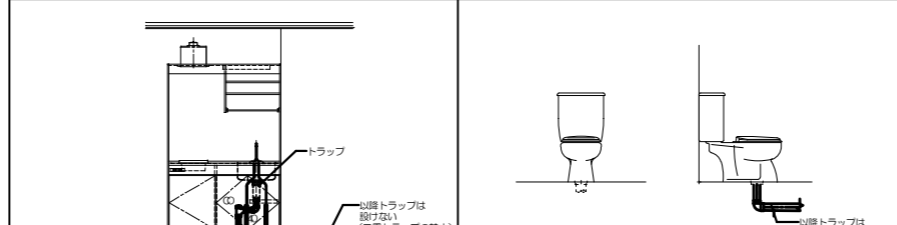
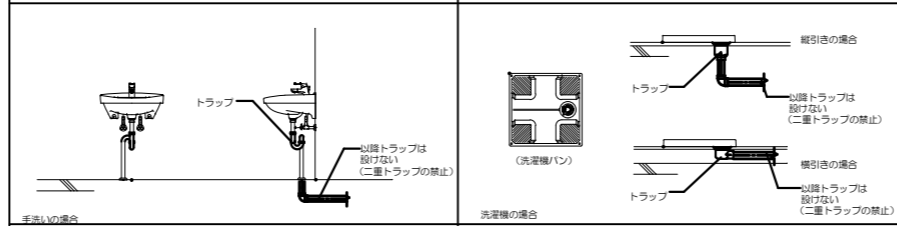
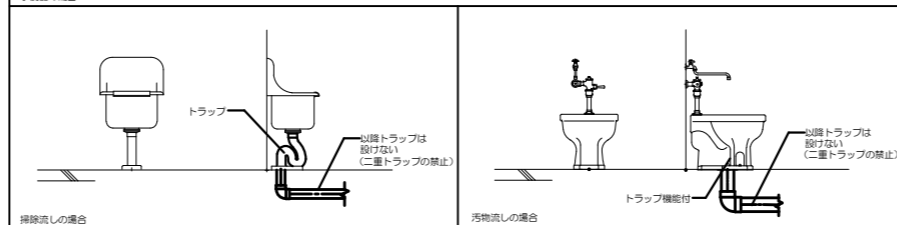
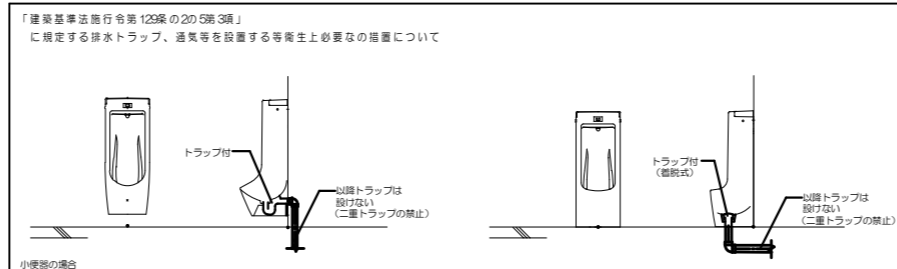
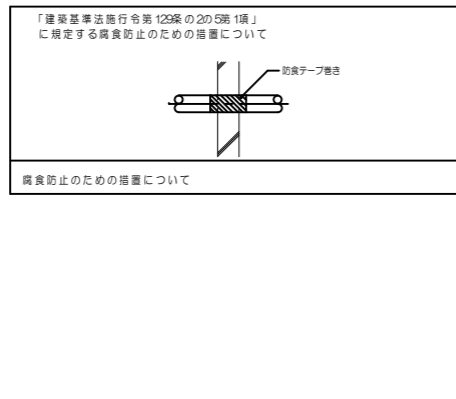
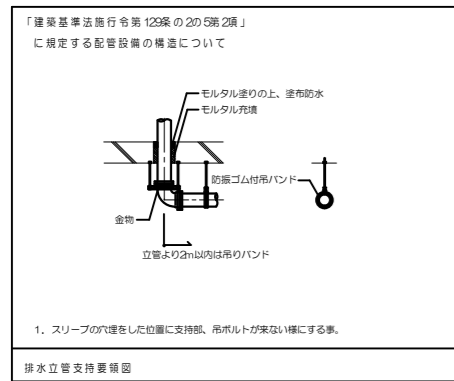
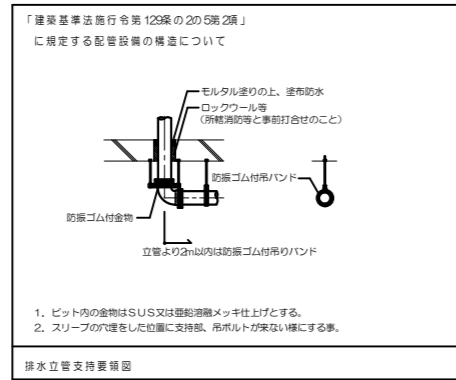
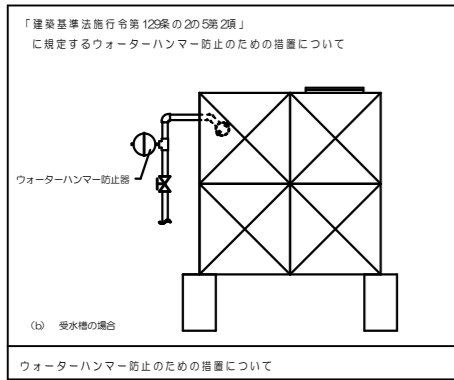
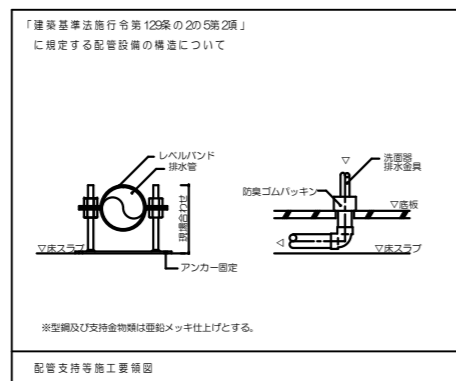
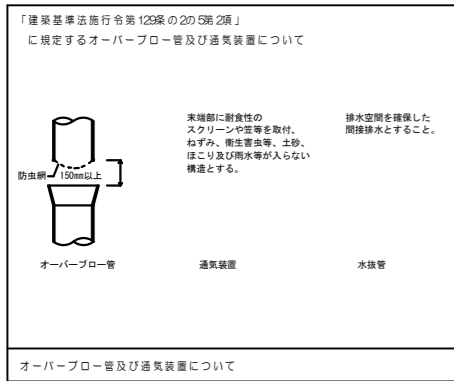
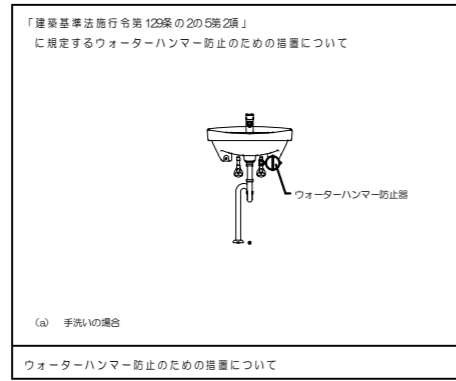
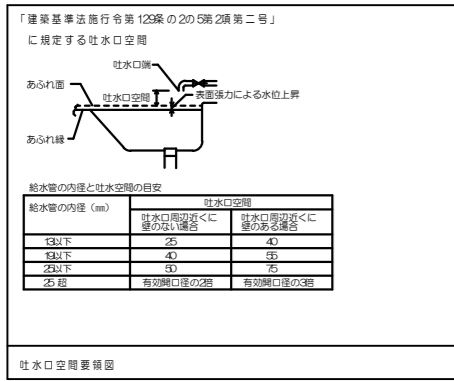
配管接続姿図



(注意)
タイマ制御ボックスの
ドア開放時スペース用に200mm以上の
隙間を開けて設置すること。

A192686D00

※省エネ基準Ⅲ地区（三種用）は準寒冷地・温暖地エリアにより寒冷地の適用は無いものとする。
 ※ウォーターハンマー防止の為、配管類は堅固に支持、固定する。



適用配管

用途	配管種類	配管サイズ (最大)
空調	断熱被覆金属管 (銅管等)	金属管外径φ4.4、5
	断熱被覆合成樹脂管 (PVC管)	断熱被覆径φ10
	断熱被覆ポリブテン管	2.0
	断熱被覆硬質塩化ビニル管 (塩化ビニル管)	2.0
	断熱被覆ポリエチレン管	2.5
	断熱被覆シリコン管 (HLP, VLV)	3.6
	断熱被覆ポリエチレン管	1.00
給排水	ポリブテン管	1.00
	ポリブテン管	7.5
	ポリブテン管及びガラス繊維強化ポリブテン管 (GRP管)	1.00
	断熱被覆合成樹脂管 (R-F-V)	1.00
	断熱被覆合成樹脂管 (P-F管)	1.00
電気	硬質塩化ビニル配線管 (VE, HIVE)	8.2

貫通部周囲の充填材は必要に応じて脱着防止措置を施す。複数の管が近接して貫通する場合は相互間の開口部の離隔距離は20mm以上とする。

A 配管の防火区画貫通部施工要領図

